

平成 2 6 年 度

事 業 報 告 書

決 算 報 告 書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

目 次

第1 事業報告書

1 設立目的及び概況	1
2 役員等の状況	2
3 理事会等の開催	4
4 定款の変更	4
5 職員の状況	5
6 事業の実施状況等	6
7 事業報告の附属明細書	70

第2 決算報告書

1 貸借対照表	71
2 貸借対照表内訳表	73
3 正味財産増減計算書	74
4 正味財産増減計算書内訳表	78
5 財務諸表に対する注記	82
6 附属明細書	84
7 財産目録	85

事業報告書

第1 事業報告書

平成26年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円(全額広島市出資)であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄付受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円(うち広島市出資1億円)である。

ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

理事長	1人
専務理事	1人
常務理事	2人
理事	11人
監事	2人
評議員	12人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成26年 6月11日	理事長	荒本 徹哉	重任
	常務理事	増川 一幸	重任
平成27年 3月27日	理事	橋本 直生	辞任
	理事	児玉 吾郎	就任
平成27年 3月31日	専務理事	高山 茂	辞任

イ 平成27年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理事長	荒本 徹哉	平成23年 7月 1日
専務理事	高山 茂	平成25年 4月 1日
常務理事	栗原 廣行	平成23年 4月 1日
常務理事	増川 一幸	平成24年 4月 1日
理事	石田 源次郎	平成24年 4月 1日
理事	岩崎 誠	平成22年 3月 1日
理事	打越 勲	平成17年 7月 1日
理事	垣内田 攻樹	平成19年 7月 1日
理事	児玉 吾郎	平成27年 3月27日
理事	中越 信和	平成17年 7月 1日
理事	西田 志都枝	平成21年 7月 1日
理事	榊井 秀雄	平成17年 7月 1日
理事	益淵 正典	平成21年 7月 1日
理事	松本 幸雄	平成21年 7月 1日
理事	渡邊 一雄	平成17年 7月 1日
監事	神田 敏治	平成19年 7月 1日
監事	手島 健志	平成24年 4月 1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成27年 3月27日	評議員	西尾 正人	辞任
	評議員	林 哲治	就任

イ 平成27年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
評議員	尾 楠 美代子	平成26年 3月27日
評議員	小 野 寛	平成24年 4月 1日
評議員	真 宅 成 光	平成24年 4月 1日
評議員	鈴 木 榮 子	平成24年 4月 1日
評議員	竹 澤 寿 幸	平成25年 8月 1日
評議員	寺 内 優	平成25年 6月10日
評議員	中 島 昌 子	平成24年 4月 1日
評議員	中 島 保 廣	平成24年 4月 1日
評議員	中 坪 孝 之	平成24年 4月 1日
評議員	林 哲 治	平成27年 3月27日
評議員	藤 井 敏 男	平成24年 4月 1日
評議員	松 上 三 智	平成24年 4月 1日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成26年 5月26日	平成26年度 第1回	1 平成25年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について 3 平成25年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関して講じた施策に関する報告について	承認 終了 終了
平成26年 6月11日 (決議の省略)	平成26年度 第2回	1 理事長の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について	選定 選定
平成27年 3月12日 (決議の省略)	平成26年度 第3回	1 平成26年度第2回評議員会の招集について	原案可決
平成27年 3月27日	平成26年度 第4回	1 平成27年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び予算について 2 平成27年度第1回評議員会の招集について 3 公益財団法人広島市みどり生きもの協会の定款第28条第2項に定める役員を選定の決議について 4 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について	承認 原案可決 選定 終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成26年 6月11日	平成26年度 第1回	1 平成25年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 理事の選任の決議について 3 平成25年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	承認 選任 終了
平成27年 3月27日	平成26年度 第2回	1 評議員の選任の決議について 2 理事の選任の決議について 3 公益財団法人広島市みどり生きもの協会の定款第28条第1項に定める役員を選任の決議について	選任 選任 選任

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

平成27年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区 分		事 務 職 員					技 術 職 員					技能業務職員	非常勤職員	合 計		
		部 長 級	課 長 級	課 長 補 佐 級	係 長 級	主 事	小 計	部 長 級	課 長 級	課 長 補 佐 級	係 長 級				技 師	小 計
緑 化 管 理 部	経営企画課		2	2	1	3	8					3	3	1	3	15
	昆虫館					1	1		1	1	1	3	6	1	1	9
動 物 公 園	管 理 課		1		3	4	8				1	3	4	3	16	31
	飼育・展示課								2	1	4	22	29		2	31
植 物 公 園	管 理 課		1	1	1	2	5	1		1	1	2	5	1	2	13
	栽培・展示課								1	2	4	4	11		6	17
合 計			4	3	5	10	22	1	4	5	11	37	58	6	30	116

6 事業の実施状況等

(1) 事業の実施状況

次の事業を実施した。

① 公益目的事業

ア 緑のまちづくり〔公1事業〕

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

(ア) 緑化思想の普及啓発

a グリーンフェア

名 称	実施期間	場 所	内 容	入場者数
春のグリーンフェア	26年4月11日 ～26年4月20日	中央公園 自由広場	広島市等と実行委員会を組織し、入口ゲートの花飾り、モデル庭園などの展示及び花市・植木市などを行った。	約91,000人
秋のグリーンフェア	26年10月4日 ～26年10月13日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、植物ふれあいオリエンテーリングや花と緑の講習会などを行った。	10,207人

b 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数
インターネット・ホームページ広報 (69ページの収益事業等に重複記載)	通 年	インターネットを通じて、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 115,817件
マスコミ広報	通 年	新聞社、テレビ局などを通じて、催し物などの情報を提供した。	新聞等 9件

c 出版物の配布

名 称	実施期間	内 容	発行部数
緑のハンドブック	通 年	緑のカーテンの作り方やその効果を紹介したハンドブックを配布し、緑化意識の普及、啓発を図った。	5,000部

(イ) 民有地緑化の推進

a 緑化講習会の開催

名 称	実施日	場 所	内 容	参加者数
苗木の植え方・育て方	26年10月11日	植物公園 (秋のグリーンフェア)	記念樹緑化事業における苗木の配付に合わせ、苗木の植え方や育て方を指導した。	11人
クリスマスに ぴったりな寄せ植え	26年11月26日	中央公園 ファミリープール	ガーデンシクラメン、コニファー等の明るくカラフルな植物でクリスマスにぴったりな寄せ植えの作り方を実演指導した。	30人
新春を迎える 寄せ植え	26年12月12日	中央公園 ファミリープール	センリョウ、シクラメン、福寿草等を使用し、土、石材及びコケで新春らしい寄せ植えの作り方を実演指導した。	30人
緑のカーテンを 楽しもう	27年3月4日	中央公園 ファミリープール	当協会が作製した緑のハンドブックをテキストとして、緑のカーテンに利用できる植物の栽培方法及び育成方法を指導した。	13人

b 緑のカーテン設置補助金などの交付〔民有地緑化基金事業〕

名 称	実施期間	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補助金の交付	26年4月7日 ～26年5月9日	緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。	69件	376,700円
魅せる花づくり 補助金の交付	26年5月1日 ～26年6月6日 26年9月1日 ～26年10月3日	民有地内で多くの人の目に触れる場所（道路に面した場所）において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。	43件	280,200円
記念樹の贈呈	26年7月18日 ～26年8月30日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹（苗木）を贈呈した。	236件	541,876円
民間建築物等緑化 事業補助金の交付	—	ホームページなどで制度の案内を行ったが、交付申請がなかった。	0件	—

c 緑化指導者の派遣〔民有地緑化基金事業〕

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
講習会への緑化指導者の派遣	通 年	草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 21回 参加者数 366人

(ウ) 貢献者の表彰〔みどり生きもの協会賞基金事業〕

広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、広島市みどり生きもの協会賞、広島市みどり生きもの協会奨励賞を贈呈する。

- ・審査の結果、平成26年度は該当者なし

イ 動物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の收受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、涵養並びに動物愛好者の育成を図った。

(ア) 動物の飼育・展示など

a 動物の飼育・展示

〔展示場所等〕 主な展示動物	内 容
〔エントランスゾーン〕 アヌビスヒヒ、 フラミンゴなど	ヒヒ山では放水清掃により展示場を清潔に保つとともに、「まいにち動物解説」を実施した。アヌビスヒヒは約50頭の雄雌と子どもを維持管理することにより、アフリカのコピエに生息する群れの状態を再現した。フラミンゴ池では平成26年6月に産まれたオオフラミンゴが順調に育成している。
〔肉食動物ゾーン〕 ライオン、 アムールヒョウなど	ライオン舎では、土・日・祝日にレオガラス前で食事をとらせるお食事タイムを実施しており、平成26年7月にレオガラスのシーリング補修を行った。平成26年3月にオープンしたトラ・ヒョウ舎の強化ガラス展示（パンセラビュー）では、アムールヒョウ、アムールトラの迫力や威圧感のある展示が可能となった。トビ・ハヤブサ・フクロウは見えにくかった種名看板を更新するとともに、フクロウの繁殖を図るため巣箱を設置した。
〔アフリカゾーンⅠ〕 アフリカゾウ、 アミメキリンなど	アフリカゾウは、雌のアイの発情時期に雄のタカと平成26年6月、9月、12月の3回にわたり同居させた。アミメキリンは、平成26年7月に雌を1頭導入して4頭展示とし、雄のアキヨシが雌のキリコと交尾を試みるまでに成長した。グラントシマウマは、順調に繁殖しており、平成26年7月に頭数管理のため余剰個体（5頭）を他の園に放出した。さらに、血統管理のため平成26年11月に新たな血統（雄）を導入した。また、闘争時の退避場所にするため、放飼場内の池の泥を撤去した。

〔展示場所等〕 主な展示動物	内 容
〔アフリカゾーンⅡ〕 チーター、クロサイ、 ミーアキャットなど	チーターは、雌の発情に合せた雄雌同居を成功させた。また、放飼場に日よけ休憩所を設置し暑さ対策を行った。クロサイは平成24年1月に生まれた雌のユキが順調に成育している。その様子は、平成27年2月にライノテラスに設置した放送設備により、「まいにち動物解説」の中で多くの来園者に伝えられるようになった。アフリカスイギュウは、平成26年5月に生まれた雄のサンバが順調に成育しており、放出を検討する時期に来ている。ミーアキャットは10頭以上の群展示を行い、穴掘りや日光を浴びて立つ姿を見せた。
〔西 園〕 レッサーパンダ、 シロクロウなど	レッサーパンダは2組のペアを形成し、シフゾウも平成26年2月に雄を導入して雌の発情に合わせ同居を行ったところ、交尾を認めた。ユーラシアカワウソは平成26年5月に繁殖(雌)した。コウノトリは昨年導入した個体が産卵したものの死ごもり卵(受精卵ではあるが、途中で死亡した卵)であった。
〔ぴーちくパーク〕 ポニー、テンジクネズミ、 ウサギ、ヤギなど	ヤギ、ヒツジ、ミニブタなどと自由にふれあえる広場を入園者に提供するとともに、ポニーの乗馬体験や、ウサギ、テンジクネズミとのふれあい体験を実施して動物の温もりを伝え、動物を愛護する情操の涵養を図った。ルリコンゴウインコ、アカコンゴウインコ、ヒワコンゴウインコは順調に繁殖・成育し、10羽が育っている。子育ての家ではオオサンショウウオの卵・幼生・成体を展示した。
〔はちゅうるい館〕 ワニ、ヘビ、 コウモリ、ムササビなど	夜行性動物が活発に動き回る姿を観察できるよう、照明を暗くした1階にはコウモリやムササビなどを展示し、2階にはワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物オオサンショウウオを屋内展示した。ビルマニシキヘビが平成26年5月に死亡したため、展示を中断していたが、平成27年3月に導入して展示を再開した。
〔サルのかなかま〕 チンパンジー、 マンドリルなど	チンパンジーは展示場内にロープや消防ホースなどを増設し、エンリッチメントを強化した。マンドリル、ダイアナモンキーなど多様なサル類を展示し、ヒトとの違いを学べるよう、その能力、形態、行動について「まいにち動物解説」を実施した。また、枯葉や遊戯木を追加し、獣舎内の環境改善を行った。さらに、マンドリルは平成26年7月に雌1頭を導入して繁殖に取り組んだ。
〔アジアの草食動物〕 マレーバク、 ブラックバクなど	マレーバクは平成25年8月に繁殖した個体(雌)が順調に成育したため、平成27年3月にブリーディングローンで放出した。ブラックバクは順調に繁殖しており、群れ展示を継続した。キョンは将来の整備計画を見据えて、繁殖制限に取り組んだ。

〔展示場所等〕 主な展示動物	内 容
〔日本の動物〕 ツキノワグマ、 キツネなど	自然と人間との係わりを考えるため、ツキノワグマ、キツネ、タヌキ、イノシシなど国内に生息する身近な動物を展示した。入園者が観察しやすいよう、アナグマ、ハクビシンの放飼場に設置してある休憩小屋を更新した。アナグマは、平成26年5月に4頭が産まれた。
〔大鳥舎〕 オシドリ、 シジュウカラガンなど	大鳥舎内に、森林の河川に生息するオシドリや、開けた湿地、湖沼に生息するマガモ・シジュウカラガンなどの生息地に似た環境を造り、展示解説した。平成25年度、初繁殖に成功したシジュウカラガンは、平成26年5月に3羽が産まれ2年連続の繁殖に成功した。

【動物の飼育展示数】

(平成27年3月31日現在)

区 分	種 類	点 数
哺 乳 類	64 種	697 点
鳥 類	45 種	527 点
爬 虫 類	32 種	281 点
両 生 類	8 種	133 点
魚 類	10 種	1,576 点
合 計	159 種	3,214 点

b 動物の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示動物の維持及び種の保存	血統や余剰動物の管理を適切に行うため、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持するとともに、ユーラシアカワウソやシジュウカラガンなどの希少種の繁殖の成功により、種の保存に貢献した。
飼育下繁殖	ユーラシアカワウソ、シジュウカラガン、ヒワコンゴウインコ、ルリコンゴウインコ、オオサンショウウオ、ナゴヤダルマガエルなど、絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖を飼育下で行った。
ブリーディングローン	所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借入れを行い、繁殖を効率的かつ効果的に行った。 借入れ：哺乳類 21頭、鳥類 10羽、爬虫類 1頭 貸出し：哺乳類 26頭、鳥類 25羽、爬虫類 0頭
動物交換	新しい血統の確保や飼育動物の数量調整、新規動物の導入を目的として、不足動物を譲り受ける一方、余剰動物を譲り渡すことにより、近交弱勢の防止や飼育環境の向上、動物公園の魅力アップを図った。 譲受け：コウノトリ、ダチョウ、ビルマニシキヘビなど 譲渡し：アフリカスイギュウ、ライオン、フサオネズミカンガルー、オオサンショウウオなど
血統登録・血統管理	優良な種の保存のため、全国の園館の血統登録台帳を活用するとともに他園と情報を共有して、血統を管理することにより血縁の偏りを防いだ。
飼育動物の健康管理	飼育動物の健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理に努め、飼育環境の向上及びエンリッチメントの充実を図った。

c 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区 分				入園者数	使用料		
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	510円	183,513人	93,591,630円	
			65歳以上	170円	11,762人	1,999,540円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	3,424人	582,080円	
	年間パスポート	購入	大人	18歳以上 65歳未満	1,540円	8,573人	13,202,420円
				65歳以上	510円	411人	209,610円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	5人	2,550円
		提示	大人	18歳以上 65歳未満	—	29,891人	—円
				65歳以上	—	1,782人	—円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	30人	—円
	団体	大人	18歳以上 65歳未満	430円	12,010人	5,164,300円	
			65歳以上	130円	239人	31,070円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	3,868人	502,840円	
	優待割引	大人	18歳以上 65歳未満	430円	1,307人	562,010円	
			65歳以上	130円	88人	11,440円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	2人	260円	
	小 計				256,905人	115,859,750円	
	減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)				248,368人	0円	
合 計				505,273人	115,859,750円		

d 利用促進

名 称	実施期間(日)	内 容	入園者数等
「ポニー体験乗馬」ポイントカードの発行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に行うポニーの体験乗馬参加者にポイントカードを配付し、利用回数に応じた特典を設け、リピーターの確保を図った。	ポイントカード配付枚数 5,271枚 特典供与人数 延べ 328人
年間パスポートの販売(動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に動物園の魅力に触れる機会を提供するため、植物園・昆虫館と共通して利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 8,989枚

名 称	実施期間（日）	内 容	入園者数等
優待利用券の販売	通 年	企業や団体の福利厚生や景品などへの利用を目的に優待利用券(入園券引換券+飲み物引換券)を販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人(65歳未満) 109冊 大人(65歳以上)及び 小人(18歳未満) 25冊
交通科学館との相互利用促進 (広島高速交通圏共同事業)	通 年	近隣施設の交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、さらなる利用者獲得を図った。	1,299人
アニマルカードの進 呈	通 年	天候不順日に来園した人を対象に、動物公園オリジナルアニマルカードを進呈し、さらなる顧客の獲得に努めた。	13,636枚
電動カートの運行	26年 7月26日 ~27年 3月29日	土・日・祝日に、勾配の急な西園等への入園者の移動手段として、電動カートを運行し、入園者サービスの向上を図った。	7,388人
休 園 日 の 開 園	26年 4月 3日 26年 5月 1日 26年 8月14日 26年10月 2日 26年10月 9日 26年10月16日 26年10月23日 26年10月30日 27年 1月 1日 27年 3月26日	春休み、ゴールデンウィーク期間中、お盆、10月の休園日、元日及び祝日と重なる場合の前日振替休園日などを開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	2,554人 2,145人 1,575人 206人 2,032人 1,999人 880人 907人 171人 1,332人 合計 13,801人
動物公園で野点	26年 5月25日	園内で上田宗箇流による野点を開催し、動物公園の魅力を向上させ、入園者に対するサービスの向上を図った。	200人
夏休み広島ミュージアムめぐりスタンプラリー (動物園・植物園・昆虫館・ (公財)広島市文化財団・ (公財)広島平和文化センター・ (公財)広島原爆障害対策協議会・ 広島高速交通圏共同事業)	26年 7月19日 ~26年 8月31日	市内の文化施設(12施設)をめぐりスタンプラリーを実施した。(特典:5施設のスタンプを集める毎に1施設へ無料入園、又はオリジナル缶バッジ進呈)	動物公園でのラリー用紙配布枚数 6,000枚 動物公園での特典利用者数 154人 (内訳:無料入園72人 缶バッジ82人)
ミストトンネル	26年 7月21日 ~26年 9月16日	夏季の入園者増加対策として、霧のトンネルを通り抜けできる涼感コーナーを設置した。	—

名 称	実施期間（日）	内 容	入園者数等
夜 間 開 園 (ナイト・サファリ)	26年 8月16日 26年 8月17日 26年 8月23日 26年 8月24日 26年 8月30日 26年 8月31日 26年 9月 6日 26年 9月 7日	幻想的な雰囲気を醸し出すとともに、昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内のライトアップや夕暮れコンサートなどを行い、動物公園の魅力を向上させ入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 2,418人 3,694人 4,188人 1,569人 6,290人 3,338人 3,048人 5,061人 合計 29,606人
安佐動物公園 ウォーキング大会 (安佐北区役所共同事業)	26年11月 8日	高齢者を対象に、動物や植物など園内の自然に親しみながら歩く、ウォーキング大会を開催した。	103人
しめ縄作り体験	26年12月23日	お正月に向けてしめ縄を作成し、日本の文化を体験し年末の入園者の増加を図った。	49人
お客様感謝デーの実施	26年12月23日 27年 1月12日	日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期の祝日2日を入園料無料の日とし、入園者サービスの向上及び入園者の増加を図った。	1,639人 2,074人 合計 3,713人
バレンタインデーイベント 「動物公園でデート」	27年 2月14日～ 27年 2月15日	バレンタインデーを含む週末に、カップルの入園者に飲み物券をプレゼントした。	配布 326枚 利用 299枚
年間入園者50万人 達成記念イベント	27年 3月30日	年間入園者50万人達成を記念して、50万人目の入園者とともにくすだまを割り、記念品をプレゼントするイベントを開催した。	入園者数 3,129人

e 施設の維持管理・園内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット（外国人向けのものを含む）や園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。

名 称	実施期間（日）	内 容
園内情報の提供	通 年	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、「きょうの見どころ・イベント」の掲示板により当日の情報を提供した。
おもてなしの送迎	通 年	毎週土・日曜日、祝日の開園前に、職員がその日のイベントや見どころ等について説明を行い、また、開園時及び閉園時には入退場門でお出迎え、お見送りをするなど、職員一同おもてなしの気持ちを持って、来園者の送迎を行った。
かよこバスの運行	26年 7月20日 26年 9月 7日	復元された「かよこバス」を園内で運行し、新たな視点から動物を観察するとともに園内移動手段の補助とした。
カープミニ新幹線の運行	26年 9月 6日 26年11月22日	広島東洋カープの協力により、園内で「カープミニ新幹線」を運行し、新たな視点から動物を観察するとともに園内移動手段の補助とした。

f 施設の維持補修など

名 称	実施期間	内 容
施設の維持補修など	通 年	入園者が安全・快適に施設を利用できるよう、広島市から委託を受け、展望広場北側園路の補修や、西園ピクニック広場トイレの修繕などを行った。
壁 画 制 作	26年 8月 1日～ 26年10月11日	入退場門横及びライオン舎の壁面に、広島市立大学と共同事業で壁画を制作し、景観の向上を図った。

(イ) 生物多様性の保全

a 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	回数等
日動水の種保存に関する会議への参加	通 年	公益社団法人日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議に参加し、種保存（繁殖）計画の検討及び調整を行った。	5 回
希少動物の保護	通 年	公益社団法人日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	33 点
姉妹動物園との交流	通 年	種の保存を目的とした動物交換や飼育技術交流等を推進するため、ホノルル動物園と姉妹動物園協定を締結（11月5日）し、その一環としてオオサンショウウオを譲渡した。	4 回
日本オオサンショウウオの会の活動	26年9月27日 ～26年9月28日	東広島市で開催された総会に参加し、保護活動に必要な情報交換を行った。	1 回

b 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	回 数
生息地における絶滅危惧動物の保全	通 年	北広島町志路原地区の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、国土交通省から灰塚ダム貴重両生類保護管理業務を受託し、ナゴヤダルマガエルの保全活動に取り組んだ。	オオサンショウウオの野外調査 8回 ナゴヤダルマガエルの野外調査 4回

c 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	回 数
生息地以外における絶滅危惧動物の保全	通 年	広島県の絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエル、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの飼育下繁殖や繁殖行動の調査などに取り組んだ。	2回

d 動物に関する調査・研究等

名 称	実施期間(日)	内 容
動物に関する調査・研究	通 年	キクガシラコウモリの自力採食飼育、ケープハイラックスの繁殖生理の研究、ダルマガエルの生態調査、オオサンショウウオの生態調査及びカエルツボカビ症の調査、鳥類の性別判定法の研究などを行った。また、安佐動物公園における40年間の野鳥観察記録をとりまとめた。
各種資料の収集	通 年	ズーイヤーブックなど動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。
写真・ビデオなどの制作	通 年	ゾウの夜間同居、クロサイの麻酔不動下による削蹄、オオサンショウウオの麻酔下での性別判別、チーターの同居を写真・ビデオなどに収録し、調査・研究に役立て、事業記録として保存した。
学会・研究会への参加	通 年	公益社団法人日本動物園水族館協会や各種学会が主催する、動物園技術者研究会、中四国野生動物医療・看護勉強会、ゾウ会議、両生類爬虫類会議、獣医学術中国地区学会、哺乳類学会などに参加・発表した。
オオサンショウウオの調査研究成果の公開	通 年	大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進し、その成果を講演会等により市民に公開した。
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	27年 2月 6日	動物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「安佐動物公園における40年間の野鳥調査記録」と題して発表した。 (参加者 80人)

e 野生動物の救護

名 称	実施期間	件 数 等			
野生動物の救護	通 年	哺乳類	17 件	8 種	17 点
		鳥 類	96 件	24 種	120 点
		爬虫類	1 件	1 種	1 点
		両生類	一件	一種	一点
		計	114 件	33 種	138 点

(ウ) 教育・普及

a 社会教育への協力

名 称	実施期間(日)	内 容	件数等
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通 年	動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	109件 4,898人
クイズ形式ワークシートの園内配布	通 年	小・中学生の入園料無料化にあたり学年やテーマ別に、クイズ形式のワークシートを作成・配布することにより、動物への関心や興味を喚起する機会を提供した。	—
ぴーちくパークにおけるふれあい指導	通 年	ポニーの乗馬やウサギ、テンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	乗馬 7,303人 ふれあい 42,451人
動物クイズラリーの助成	通 年	遠足時におけるクイズラリーの相談を受け、助言やスタンプの貸出しを行った。	13件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)、飼育実習、獣医臨床実習を行った。	47人
講演会・研修会への講師の派遣	通 年	児童館や公民館などの要請に基づいて、職員を講師として派遣し、動物の生態や自然などについて講演した。	22件
教材資料の作製・貸出し	通 年	骨格標本など教材資料を作製し、学校などを対象に貸出しを行った。	骨格標本等教材 85件 453点
大学・専門学校と連携したイベント実習	通 年	広島アニマルケア専門学校と連携協定を締結(9月13日)するなど、大学・専門学校と連携して、動物ふれあい活動やミニ動物園などを行い、学生が市民応対を通して、動物愛護思想の普及方法を実習できる機会を提供した。	5件

名 称	実施期間(日)	内 容	件数等
学 べ る 動 物 園	通 年	展示動物の魅力を効果的に伝えるため、飼育係が楽しく分かりやすい解説板を作製し、動物舎前に設置した。	30 件
教材生物バザールへの参加	26年 5月16日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として動物資料を提供した。	1 件
シンポジウム&ワークショップ 動物園と学校との連携を深める	27年 3月29日	学校の教員や入園者を対象に学校における動物園の活用法についてのシンポジウムを開催するとともに、教員を対象にワークショップを開催した。	シンポジウム 40 人 ワークショップ 12 人

b 学校への職員派遣

名 称	実施期間	内 容	件 数
出 前 授 業	通 年	小・中学校及び高校に職員を派遣し、動物の生態や動物公園の仕事などについての説明や授業を行った。	27 件

c 市民・団体との協働

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物解説ボランティア	通 年	園内で動物解説活動にあたるボランティアを育成し、活動内容の充実を図り、新たにガイドツアーを実施した。 解説ボランティア登録人数：59人	活動延べ人数 364 人
作業ボランティア	通 年	園内で花づくりなどの作業にあたるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 作業ボランティア登録人数：43人	活動延べ人数 683 人
フェルトでゆきだるま (ボランティアとの共同イベント)	26年12月 6日	動物公園のヒツジの毛を使って、簡単な工作でフェルトの雪だるまなどを作製した。	100 人
大学・専門学校との協働	通 年	大学・専門学校と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。	広島大学 1件 広島市立大学 1件 山口大学 1件 京都大学 1件 日本大学 1件 九州大学 1件 岐阜大学 1件 麻布大学 1件 近畿大学 1件 酪農学園大学 1件

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
メイちゃんの一 日警察署長 (安佐北警察署)	26年 4月13日	春の交通安全運動にあわせて、ゾウのメイが「一日警察署長」として交通安全に関するパフォーマンスを披露した。	70人
鹿角ストラップづくり (公財)広島市文化財団)	26年 4月29日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験する場を提供した。また、市内で発掘された動物に関する出土品を展示した。	1,000人
リユース フリーマーケット (広島市環境局)	26年 5月17日 26年 9月18日	家庭不用品のリユースを通じて、自然環境保全及び動物愛護思想の普及を図った。	出店 82組
メイちゃんとPK対決 (株)サンフレッチェ広島)	26年 6月 8日	ゾウのメイがシュートして飼育係がゴールを守るPK対決などを行った。また、2名の選手を招聘して、パフォーマンスやサッカー体験を行った。	500人
親子で心の バリアフリー教室 (国土交通省中国運輸局)	26年 7月12日	車いす体験やブラインド体験を行う、身体障害者への対応の講習会を開催した。	38人
サンフレッチェ応援 ASA ZOO ふれあい広場 (株)サンフレッチェ広島)	26年 7月23日 26年 9月20日	ホームゲームの開催日に、エディオンスタジアムで、ウズラやヘビとふれあえるイベントなどを実施した。	1,000人
夏休み!キミもまんが家! 4コマ漫画講座 (公財)広島市文化財団)	26年 7月26日	大学のまんが講師を招聘し、園内の動物を題材にした4コマ漫画制作講座を開催した。	13人
がんばれカープ! ASA ZOO-ZOO 広場 (株)広島東洋カープ)	26年 7月29日	マツダスタジアムで動物ふれあい広場などを行った。	1,000人
スイカの皮むき パフォーマンス (株)広島東洋カープ)	26年 7月29日	広島東洋カープの協力で、スイカ皮むき機を使ったイベントをヒヒ山前で開催し、皮をむいたスイカをヒヒに与えた。	200人
夕暮れコンサート (公社)広島交響楽協会)	26年 8月17日	夜間開園で、広島交響楽団による夕暮れコンサートを実施した。	600人
ドリームナイト・ アット・ザ・ズー (ジブラルタ生命保険株)	26年 9月13日	障害児とその家族及び東日本大震災により福島県から広島市に避難して来られた家族を招待した。	2,137人
ZOO スポ!! 動物園で体力測定 (公財)広島市スポーツ協会)	26年10月18日	動物の能力に関連したゲームに参加しながら体力測定ができるイベントを開催した。	300人

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数等
動物の重さ・長さクイズ (広島市計量検査所・(一社)広島 県計量協会・広島市計量協会)	26年10月26日	11月1日の計量記念日にちなんで、 スマレコンゴウインコ、ジャンボウサ ギ、ガチョウの体重、クロサイの1日分 の餌の重さを入園者に予想してもらい、 公開計測を行った。	予想投票数 598 票
メイちゃんの一 日消防署長 (安佐北消防署)	26年11月 2日	秋の全国火災予防運動にあわせて、ゾウ のメイが「一日消防署長」として、消火 活動を披露した。	200 人

d 広島動物愛好会の活動

会員内訳

(個人会員：162人、家族会員：52家族 199人、賛助会員：5社)

名 称	実施日・回数	内 容	参加者数等
例 会 (第254回～第259回)	26年 4月13日	「ネコ科動物について」(講話)、園内見学	50 人
	26年 6月 8日	「ムササビについて」(講話)、 ムササビの巣箱づくり、巣箱かけ	53 人
	26年 8月10日	「フラミンゴの繁殖について」(講話)、 園内見学	12 人
	26年10月12日	「再整備計画について」(講話)、園内見学	27 人
	26年12月 8日	十大ニュース、懇談会	52 人
	27年 2月 8日	「動物たちの母と子」(中道正之氏講演会 27ページに重複記載)、園内見学	(講演会参加者75人のうち) 42 人
会 誌 の 発 行	年 6 回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを 載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 250 部
す づ ぐ り の 送 付	年 4 回	動物公園の出来事などを載せた「すづく り」を会員に送付した。	各回 250 部
自 然 観 察 会	26年 5月25日	マテガイ、アナジャコ、ミミズハゼなどの 干潟の動物の観察を行った。 場所：廿日市市宮島町	40 人
	26年11月30日	ヒドリガモ、ホシハジロ、ダイゼン、セグロ カモメ、オオタカなどの野鳥の観察を行った。 場所：山口県山口市阿知須	52 人

e コンクールその他催し物の開催

(a) コンクール

名 称	応募期間・実施日	内 容	応募 入選	応募点数等
子ども写生大会 (中国新聞社共催)	26年 5月11日	幼児、小・中学生を対象に、動物公園の動物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 入選	602点 197点
動物作文・詩 コンクール	26年7月1日 ～26年9月15日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 入選	714点 273点
動物画コンクール	26年7月1日 ～26年9月15日	動物公園の動物や園内風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 入選	2,674点 382点
動物写真コンクール	26年7月1日 ～26年12月28日	動物を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 入選	478点 39点
動物と消防の写生大会 (安佐北区子供会連合会 ・安佐北消防署共催)	27年 3月15日	動物と消防車を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 入選	427点 60点

(b) 観察会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ダルマガエルの 目覚め観察会	26年 5月 6日	飼育下で冬眠中のダルマガエルをミズゴケから掘り起こす作業を公開した。	55人
モリアオガエルの 産卵観察会	26年 6月14日	園内に生息する野生のモリアオガエルと、その卵塊を観察した。	100人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	26年10月19日	西城川で河原の植物や昆虫の観察及び化石の採集を行った。また、比和自然科学博物館を見学した。 場所：庄原市門田町、比和町	67人

(c) 動物教室その他催し物

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物愛称募集 及び命名式	通 年	新規導入した動物や繁殖により誕生した動物の愛称を市民から募集するとともに、愛称の命名式を行った。	チンパンジー 応募 1,706 票 愛称 ニック キリン 応募 454 票 愛称 カナ
まいにち動物解説	通 年	園内での動物解説を毎日時間を決めて数か所で行った。動物の生態などをわかりやすく解説し、動物への理解を深めてもらった。	37,792 人
バックヤードガイド	通 年 (毎週土曜日)	普段は見学することのできない動物舎などに案内し、動物公園の仕事や動物への理解を深める機会を提供した。	105 回 2,055 人
サンちゃんツアー (オオサンショウウオ保護 増殖施設ガイドツアー)	通 年	毎月1回、オオサンショウウオ保護増殖施設を案内し、オオサンショウウオの保護活動が環境保全に繋がることを伝え、参加者の保護意識の涵養を図った。	146 人
写真どうぶつえん	通 年	動物公園の動物を題材とした写真を募集し、作品を飼育舎前に掲示した。	応募 126 枚 掲示 59 枚
解剖教室 ～ 獣医入門～	26年 4月20日	小学校3～6年生を対象に、ニワトリの解剖を行った。	27 人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物公園春まつり	26年4月1日 ～26年5月6日 27年3月7日 ～27年3月31日	春の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 152,433人
えさやり体験	26年 4月 5日・6日 27年 3月 28日・29日	キリン、ヤギ、ヒツジへのえさやり体験を通じた動物とのふれあいの場を提供した。	キリン 442人 ヤギ・ヒツジ 303人
動物えさやりタイム	26年 4月 5日・6日 27年 3月 28日・29日	飼育係がペンギンやシマウマ、レッサーパンダなどに給餌をしながら、動物の習性やくらしについて解説した。	入園者数 12,298人
メイちゃんの公開パフォーマンス	26年 4月 6日	ゾウのメイが鼻を器用に使う様子や牙で飼育係を持ち上げるパワーなどゾウの持つ能力を披露した。	226人
ヒツジの毛刈りと糸つむぎ教室	26年 5月 3日・4日	ヒツジの毛刈りの実演と、毛糸ができるまでの過程を体験できる教室を実施した。	糸つむぎ教室 165組
こどもの日動物解説デー	26年 5月 5日	こどもの日に、園内各所で飼育係と獣医師が動物について解説した。	入園者数 7,464人
オリジナル漫画本発売イベント	27年 3月 7日	オリジナル漫画本の第3弾「キリマンジャロのつづき」の発売を記念してトークショーを開催した。	100人
アニマルスクラッチくじ	27年 3月 14日・15日 21日・22日	アニマルカードの人気ランキングを発表するとともに、記念のスクラッチくじを配布した。	8,000人
みんなで乗ろう！カンファレンスパイク	27年 3月 14日・15日 21日・22日	広島電鉄が所有する7人乗りのカンファレンスパイクの試乗会を開催した。	993人
動物脱出対策公開訓練	27年 3月22日	ツキノワグマが脱出したという想定で動物脱出対策公開訓練を行った。	入園者数 6,266人
カエルのための田んぼで田植え体験	26年 5月10日	園内に設置したカエルの生息に配慮した水田で、募集した参加者と田植えを行った。	24人
動物園 de 婚活	26年 6月 1日 26年11月24日	独身の男女を対象に、園内ツアーやクイズラリー、バーベキュー（11月のみ）など、動物園ならではの出会いの場を提供し婚活を支援した。	49人 50人
オウム・インコデー インコと記念撮影	26年 6月15日	6月15日のオウム・インコデーにちなみ、希少動物であるインコについて解説し、記念撮影コーナーを設置した。	363人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
ア ニ マ ル バルーンアート	26年 6月 28日・29日	色とりどりのペンシルバルーンを巧みに操り、さまざまなかわいい動物を作り出すバルーンアート教室を開催した。	580 人
動 物 園 で 七 夕	26年 7月 7日	動物公園特製のレッサーパンダの糞を使用した短冊に願いを書いて竹に取り付けた。	7 人
動 物 へ 暑 中 お 見 舞 い	26年 7月23日	大暑に、果物が入った氷やスイカなどをアヌビスヒビやゾウに与えた。入園者にもかき氷をプレゼントした。	210 人 かき氷プレゼント 50 人
サ マ ー ス ク ー ル	26年 7月25日 26年 7月28日	小学校4～6年生を対象に飼育実習を行い、動物の飼育方法や動物の暮らしについて学ぶ機会を提供した。	48 人 52 人
神 楽 ス テ ー ジ	26年 8月 16日・23日 30日 26年 9月 6日	ナイト・サファリにおいて、広島で盛んな伝統芸能「神楽」で、動物の登場する演目を上演した。	1,500 人
動 物 公 園 で 打 ち 水 体 験	26年 8月17日	エネルギーの節約による自然保護の考えを知る、打ち水の体験の機会を提供した。	50 人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物公園秋まつり	26年9月13日 ～26年11月30日	秋の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 146,350人
開園記念日行事	26年 9月 7日	公募により決定した小中学生に一日園長を委嘱し、園内巡視やえさ作り体験などを行った。また広島東洋カープ元選手前田智徳氏による、トークショーを開催した。	入園者数 8,563人
カエルのための 田んぼで稲刈り体験	26年 9月13日	園内に設置したカエルの生息に配慮した水田で、募集した参加者と稲を収穫した。	19人
動物たちの 長寿を祝う会	26年 9月15日	敬老の日に、長寿の動物たち(クロサイ、ユーラシアカワウソ)に果物などを与え、入園者とともに祝った。	350人
サイの日	26年 9月22日	世界サイの日にちなみ、クロサイの生態や野生の現状などについて解説した。	200人
長寿世界一 クロサイの ハナにご対面	26年10月 4日・11日 18日・25日	10月の毎週土曜日に、普段は非公開になっている、生存中の個体としては世界最高齢の48歳のハナを特別公開した。	1,493人
飼育係と お話サンデー	26年10月 5日・12日 19日・26日	10月の毎週日曜日に、園内各所で飼育係が動物の話をするなど、入園者とのふれあいの一日を持った。	入園者数 12,508人
ハロウィン動物園	26年10月25日	ハロウィンにちなんだ衣装をした入園者を誘致するとともに巨大カボチャの展示を行った。	入園者数 3,057人
動物園で いも掘り	26年11月 1日	園内の動物の餌とするイモ畑で市民とともにサツマイモを収穫した。	50人
Zoo Cafe 動物園deサイエンスカフェ	26年11月 2日・ 9日 16日・23日 30日	11月の毎週日曜日に飼育係が入園者と対話しながら動物の不思議や飼育のこぼれ話などをするサイエンスカフェを開催した。	410人
ふりふりバター作り	26年11月22日	生クリームとペットボトルを使って簡単にバターを作る方法を指導し試食するとともに、家畜と人との関わりについて解説した。	150人
はたらく動物に 感謝の日	26年11月23日	勤労感謝の日に、安佐動物公園一の働き者、ポニーの4頭を表彰してニンジンをプレゼントし、記念撮影を行った。	300人
おとなのための 飼育体験教室	26年11月15日	野生動物への関心を深めるため、飼育実習と講義を行った。	24人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物公園冬まつり	26年12月 6日 ～27年2月28日	冬季の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 49,290人
ヒ ツ ジ と 記 念 撮 影	26年12月 7日	平成27年の干支「ヒツジ」との記念撮影の場を提供した。	340人
開運ち祈願しおり プ レ ゼ ント	26年12月 13日・20日	アフリカゾウの糞を使用した開運ちしおりを入園者にプレゼントした。	112人
動物公園で雪遊び	26年12月17日～ 27年1月18日	冬の動物公園の賑わい作りのため、雪の滑り台を作った。	入園者数 20,196人
ク リ ス マ ス 動物キャンドル作り	26年12月21日	クリスマスにちなみ動物型のキャンドルを作るイベントを開催した。	160人
元気に冬越し 冬至はかぼちゃ	26年12月22日	冬至に、ゾウやアヌビスヒヒなどにかぼちゃを与え、動物たちの健康を願った。	50人
ク リ ス マ ス カープ土生選手と サイタクロースが プ レ ゼ ント	26年12月24日	クリスマスに飼育係が扮したクロサイのサンタクロースが動物のエサを配るとともに入園者にお菓子などをプレゼントした。また、広島東洋カープの土生選手を招聘し抽選で賞品をプレゼントした。	499人
干支の引継ぎ式	27年 1月 1日	元日に新年を迎えるイベントとして「ウマ」から「ヒツジ」への干支の引継ぎを行った。	30人
みんなで歌おう！ 安佐動物公園の歌	27年 1月 1日	秋に完成した安佐動物公園の歌を来園者と共に歌うイベントを開催した。	50人
新春子ども もちつき体験	27年 1月 2日・ 3日	新春を祝う行事として、子どもたちによるもちつき体験を行った。	600人
羊毛でヒツジの マスコット作り	27年 1月11日	平成27年の干支「ヒツジ」にちなみ、羊毛（フェルト）でヒツジのマスコットを作るイベントを開催した。	200人
オリジナル缶バッジ を 作 ろ う	27年 1月 4日	動物のイラストを描いた自分だけのオリジナル缶バッジ作りを実施した。	202人
落 ち 葉 で やきいも作り	27年 1月 18日・25日	冬の風物「やきいも」作りを体験しながら、動物たちの冬の過ごし方について解説した。	154人
まんが動物園 & 動物まんが クイズラリー	(まんが展示) 27年 2月 1日～ 27年 2月28日 (クイズラリー) 27年2月 1日・ 8日 15日・22日	飼育係が描いたまんが解説パネルを展示し、そのまんがを題材にしたクイズラリーを行った。	2,910人
動物講演会 (21ページに重複記載)	27年 2月 8日	「動物たちの母と子～クロサイ・キリン・ニホンザルの子育てからわかること～」と題し、大阪大学大学院の中道正之教授による講演会を行った。	75人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
クロサイ解説設備 完成披露と記念ガイド	27年 2月21日	クロサイの解説用放送設備の完成を記念して披露式と記念ガイドを実施した。	100人
親子動物教室	27年 3月14日	親子を対象に、動物の生態の観察や動物にふれあう場を提供し、動物愛護思想の普及を図った。	8組 16人
視点場完成披露式	27年 3月21日	新たな視点から、動物を観察するとともに、その背景となる風景も楽しむことができる「視点場」の完成を記念して披露式と記念解説を実施した。	50人

f 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
なかよし動物教室	通 年	生きものへの関心を深めるため、保育園・幼稚園の園児を対象に、ポニーの乗馬やウサギ、テンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	114件 3,428人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の「総合的な学習の時間」において、動物公園の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	1件 6人
進路総合学習 の 受 入 れ	通 年	中学校の進路総合学習において、動物公園の職場見学を希望する生徒を受け入れた。	1件 22人
自然体験活動 の 受 入 れ	通 年	動物の観察や動物とのふれあいを目的として、市立小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	53件 3,783人

g 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容	
動物と消防の写生大会 入 賞 作 品 展	26年 4月12日 ～26年 4月20日	「動物と消防の写生大会」の入賞作品を展示した。	
動物写真コンクール 入 賞 作 品 展	26年 4月27日 ～26年 5月25日	「動物写真コンクールの」入賞作品を展示した。	
子ども写生大会 入 賞 作 品 展	26年 6月14日 ～26年 7月 6日	中国新聞社と共催して行った「子ども写生大会」の入賞作品を展示した。	
企画展示 「クロサイ展」	26年 7月19日 ～26年 9月23日	絶滅危惧種で安佐動物公園での日本最多出産記録や現存するクロサイでは世界最高齢などの数々の記録を残しているクロサイの魅力や現状についてパネルなどで紹介した。	
田井基文 「どうぶつ写真展」	26年10月 4日 ～26年10月26日	動物写真家 田井基文氏が全国の動物園で撮影した動物の写真を展示した。	
動物画コンクール 入 賞 作 品 展	26年11月 3日 ～26年11月30日	「動物画コンクール」の入賞作品を展示した。	
干支展「ヒツジ展」	26年12月13日 ～27年 1月12日	平成27年の干支ヒツジの生態や安佐動物公園の個体を、パネルや写真で紹介した。	
市民 公募 展	「広島市立大学 芸術学部絵画展」	27年 1月24日 ～27年 2月22日	広島市立大学芸術学部の学生が動物公園で描いた動物画や動物のいる風景の作品展を開催した。
	「盲導犬ってすばらしい！」	27年 3月 7日 ～27年 3月29日	盲導犬ユーザーでバリアフリーリーダーの今井敏代氏の出展により、盲導犬の姿を紹介する写真展を開催した。また、3月22日には今井氏による講演会「盲導犬がやって来る」を開催した。

h 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などの話題を広報した。また、園外からの動物(キリン)の搬入の様子を、当園では初めてマスコミ公開した。	広報件数 123 件 取材件数 229 件 《取材件数の内訳》 テレビ 119 件 ラジオ 28 件 新聞 63 件 その他 19 件
近隣縣市町訪問広報	通 年	岩国市、浜田市、雲南市、飯南市、鳥取市に職員を派遣し、動物公園の教育活動等をPRし利用を促した。	5 か所

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験型環境学習プログラムの普及	通 年	動物レクチャーや体験型環境学習プログラムを学校などに配布し、利用を呼びかけた。	206 か所
観光事業所との連携	通 年	観光事業所に職員を派遣し、動物園事業をPRし、観光客の来園を促した。また、広島観光コンベンションビューローなどと連携して、観光客の増加を図った。	11 件
PR用チラシの配布	通 年	公共施設や観光事業所に動物公園のPR用チラシを市内郵便局ネットワークを利用し配布した。	1,614 か所
動物写真パネルの貸出し	通 年	動物の写真パネルやマンガを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物公園のPRの場とした。	32 か所 写真パネル 498 点 マンガ 152 点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供した。	Eメールによる問合せ等 137 件
ツイッターによる広報	27年 1月16日 ~27年 3月31日	情報共有力・拡散力の高いツイッターにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を速やかに発信した。	331 件
ミニ動物園の実施	通 年	サービスエリアや地域イベント会場でミニ動物園を開催し、動物公園のPRを行った。	3 件
マスコットキャラクターを利用したPRの実施	通 年	オオサンショウウオのキャラクターの着ぐるみ「サンちゃん」等を積極的に園内外のイベントに参加させ、市民に動物公園のPRを行った。	9 件
幼稚園・保育園・小学校へのPR	通 年	市園長会、市小学校校長会、民間保育園等でPR活動を行い、遠足の誘致を図った。	4 件
新興団地・近隣団地へのPR	通 年	子育て世帯が多い新興団地やリピーターが期待できる近隣団地にPR活動を行い、入園者の増加を図った。	3 件
有料の広告媒体による広報	通 年	イベントチラシの新聞折込、FMラジオなど有料の広告媒体を利用して集客を図った。	8 件

i 出版物の発行

名 称	発行部数	内 容
「すづくり」 「25年度年報」 「飼育記録集」	4回計3,400部 270部 220部	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した「すづくり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。

j 動物に関する相談

名 称	実施期間	件 数
動 物 相 談	通 年	飼育相談 41件 野生動物の救護 66件 引取依頼 90件 有害鳥獣の駆除対策 58件 その他一般相談 147件 計 402件

ウ 植物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の收受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、涵養並びに植物愛好者の育成を図った。

(ア) 植物の栽培・展示など

a 植物の栽培・展示

〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔大温室〕 ヤシ、ラン、熱帯果樹など	温室内を、植物の分類や利用目的によって9区画に分けて栽培・管理した。展示においては、入園者が巨大な熱帯植物の醸し出すジャングルの雰囲気を感じながら植物により親しめるように、各所に説明板を設置して知識の普及に努めた。また、夜間に開花する植物の剪定を工夫して開花期を夜間開園に合わせたほか、春をよぶラン展では、400種4,000鉢30万輪のランを用いて広島平和記念公園の原爆死没者慰霊碑などをディスプレイした。
〔サボテン温室〕 サボテンなど	サボテン類やリュウゼツランの仲間などの乾燥地に生える植物を栽培・展示した。様々な系統の植物が乾燥地という特殊な環境に適応していることを理解するために、22の科に分類される約250品種を展示し、自生地の写真や解説を添えて植物に対する興味の高揚を図った。
〔展示温室〕 ゼラニウムなど	ゼラニウム、ハーブ類、セントポーリアとイワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物など植物公園が保有するコレクションと、近郊の愛好家が出品するエビネ、セッコク・長生蘭、ウチョウラン、サボテンなど、季節にふさわしい植物を年間18回展示した。
〔熱帯スイレン温室〕 熱帯スイレンなど	多彩で美しい花を咲かせる熱帯性スイレンを周年開花させ、周辺の草花類に囲まれたエキゾチックな憩いの空間を提供した。オオオニバスを3品種育成して試乗体験会を4日間開催した。また、子どもに人気が高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を常時展示し、模型や説明板も設置して子どもが植物に興味を持つきっかけづくりの場とした。
〔ベゴニア温室〕 球根ベゴニアなど	季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供するために、冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つといわれる球根ベゴニアと合計650品種の様々なベゴニアを周年開花させて展示した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てることに興味を抱く機会を提供した。

〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔カスケード〕 インパチエンス、ペチュニアなど	年間 2,000 基以上のプランターやコンテナを設置し、季節を代表する草花を展示して家庭園芸の見本とした。
〔フクシア温室〕 フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャーミングな花で人気のあるフクシアを周年開花させ、約100品種160鉢を常時展示した。また、温室の一角に設けた世界の野生ランコーナーでは、常時、開花株を飾るだけでなく、図解でわかりやすくした解説板のほか、香りをかいだりルーペを使って花の詳細を観察することのできる体験型の展示を行った。
〔芝生広場〕 サクラなど	来園者の憩いの場、語らいの場のほかイベント広場として利用した。また、周辺にはサクラ類をはじめマンサク、ロウバイ、アンズなどを植栽し、早春から春にかけて見ごろとなるゾーンとした。ベゴニア温室前では、高さ5メートル以上に育つヒマワリを育成し、普段目にすることがない植物の大きさを楽しむ機会を作った。「ログガーデン」と命名しているログハウス周辺に、バラや宿根草類を植栽し、四季の花が楽しめるイングリッシュガーデン風の展示とした。
〔花の進化園〕 キンポウゲ科、シソ科、 キク科、ユリ科、アヤメ 科、イネ科など	主に被子植物を分類学上の科ごとに、進化の過程で出現した年代が早いものから遅いものの順で植栽・展示した。説明板を設置し、来園者が実物を観察しながら進化について学び、理解を深めるとともに、植物の不思議な世界に興味を持つきっかけづくりの場とした。
〔屋外展示場〕 日本サクラソウ、山野草など	愛好家が出品するクレマチス、山野草のほか、日本サクラソウ、変化アサガオ、中国ギクなど植物公園の収集・保存の成果を紹介・展示した。
〔ロックガーデンと うらら池散歩道〕 タカネマツムシソウ、ナミキ ソウ、セツブンソウなど	ロックガーデンには高山や海岸といった厳しい環境に適応した種を、うらら池の散策路沿いには林床、草原、水辺など里山の環境に自生する種を植栽・展示した。野生植物の多様な姿や絶滅危惧植物を紹介することで、身近な植物を知り、愛好心の涵養を図った。
〔バラ園〕 バ ラ	広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、バラの遺伝子資源の保全に貢献するとともに、バラに包まれたくつろぎの空間を提供した。
〔ツバキ園〕 ツ バ キ な ど	季節感に溢れ、日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽し、早春に憩える場を提供した。周囲には、サザンカ類、ヒメシャラなどの野生種も植栽し、夏に心地よい木陰を提供すると同時に晩秋から冬にかけての見どころとした。
〔日本庭園〕 ウメ、ハナショウブ、 アジサイなど	本格的な茶室を中心に、ウメ、ハナショウブ、アジサイなど和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気にくつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努め、他園の大規模なハナショウブ園との差別化を図った。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイの植栽展示を充実させた。

主な展示植物 〔展示場所〕	内 容
〔樹林観察園〕 シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木について自生地に行くことなく体感、学習できる場を提供した。
〔こども花壇〕 パンジーなど	約250㎡の中に、キバナコスモス、コスモス、パンジーの迷路を季節ごとに作り、子どもが楽しめる場を提供した。
〔展示資料館壁面・ ベゴニア温室前など〕 アサガオの巨大カーテン、 巨大ヒマワリなど	技術力が必要な巨大な植物、珍しい植物など入園者に驚きを与える植物の展示を行った。

【植物の栽培展示数】

(平成27年3月31日現在)

区 分	種 類	本 数
大 温 室	620 品種	10,960 本
サ ボ テ ン 温 室	250 品種	850 本
熱 帯 ス イ レ ン 温 室	150 品種	600 本
ベ ゴ ニ ア 温 室	650 品種	2,000 本
フ ク シ ア 温 室	140 品種	230 本
栽 培 温 室	3,910 品種	32,520 本
バ ラ 園	850 品種	1,300 本
ツ バ キ 園	200 品種	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,500 品種	154,800 本
合 計	10,270 品種	203,860 本

b 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展 示 ・ 保 存 植 物 の 維 持 ・ 充 実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持・充実を図った。
栽培下における増殖	サクラソウ、ハナショウブ類など希少な植物や、球根ベゴニアやフクシアなど周年展示している展示上重要な植物の増殖を行った。
種子・種苗の交換	国内外の植物園などと種子の交換を行い、多くの植物を収集して、貴重な種の保存を行うとともに、育苗して植栽・展示し、植物に関する知識の普及を図った。 譲受け : 16か国 35か所 101種 譲渡し : 10か国 17か所 118種

名 称	内 容
種 苗 の 購 入	ススキノキ、パピリオナンテ、オフィリスなどの珍しい植物のほか、市場などの情報調査によって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。
栽培植物の生育管理	生育状態を良好に保ち、病虫害被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。

c 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区 分				入園者数	使用料		
有 料 入 園 者	個 人	大人	18歳以上 65歳未満	510円	56,759人	28,947,090円	
			65歳以上	170円	17,944人	3,050,480円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	386人	65,620円	
	年間 パス ポート	購 入	大人	18歳以上 65歳未満	1,540円	2,776人	4,275,040円
				65歳以上	510円	1,560人	795,600円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	3人	1,530円
		提 示	大人	18歳以上 65歳未満	—	14,960人	—円
				65歳以上	—	9,299人	—円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	7人	—円
	団 体	大人	18歳以上 65歳未満	430円	2,898人	1,246,140円	
			65歳以上	130円	727人	94,510円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	353人	45,890円	
	優 待 割 引	大人	18歳以上 65歳未満	430円	35人	15,050円	
			65歳以上	130円	2人	260円	
小人		18歳未満(小・中学生を除く)	130円	0人	0円		
小 計				107,709人	38,537,210円		
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)				98,566人	0円		
合 計				206,275人	38,537,210円		

d 利用促進

名 称	実施期間(日)	内 容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共通して利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 4,339枚
さくらまつり	26年4月5日 ～26年4月29日 (土・日・祝日)	桜が見ごろになる時期に合わせ、桜観賞会や写真教室、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	11,377人
夜 間 開 園	26年 4月 5日 26年 4月 6日 26年 4月12日 26年 4月13日 26年 9月13日 26年 9月14日 26年 9月20日 26年 9月21日 26年 9月27日 26年 9月28日 26年11月29日 26年11月30日 26年12月 6日 26年12月 7日 26年12月13日 26年12月14日 26年12月20日 26年12月21日 26年12月23日	夜に開花する植物(オオオニバス、サガリバナ)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 216人 1,331人 797人 71人 3,692人 4,160人 3,570人 2,285人 3,768人 2,193人 3,035人 198人 1,869人 1,485人 2,283人 1,404人 1,047人 1,947人 2,145人 合計 37,496人
休 園 日 の 開 園	26年 4月11日 26年 4月18日 26年 5月 2日 26年10月10日 27年 3月 6日	造幣局花のまわりみち、ゴールデンウィーク、秋のグリーンフェア及び春をよぶラン展期間中と祝日の前日の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	295人 229人 1,800人 454人 405人 合計 3,183人
みどりの日・植物園の日 記 念 行 事	26年 5月 4日	みどりの日と植物園の日を記念し、花苗のプレゼントやコンサートなど様々なイベントを実施した。	みどりの日 6,526人

名 称	実施期間(日)	内 容	入園者数
区民ウォーク in 植物公園 (佐伯区役所共同事業)	26年 5月31日	手軽な健康づくりの場としての利用を通じて、植物公園の利用促進を図るため、市民を対象にウォーキング大会を実施した。	218人
サマーフェア	26年7月12日 ～26年8月31日	夏休み期間中を中心に、ゴーヤなどのツル植物を使った植物のトンネルや巨大カボチャの展示、芝生広場での巨大噴水迷路などを実施し、入園者の増加を図った。	37,034人
夏休み広島ミュージアム めぐりスタンプラリー (動物園・植物園・昆虫館・ (公財)広島市文化財団・ (公財)広島平和文化センター・ (公財)広島原爆障害対策協議会・ 広島高速交通圏共同事業)	26年7月19日 ～26年8月31日	市内の文化施設(12施設)をめぐりスタンプラリーを実施した。(特典:5施設のスタンプを集める毎に1施設へ無料入園、又はオリジナル缶バッジ進呈)	植物公園でのラリー用紙配布数 2,000枚 植物公園での特典利用者数 27人 (内訳:無料入園13人 缶バッジ14人)
秋のグリーンフェア 会場としての利用	26年10月4日 ～26年10月13日	秋のグリーンフェア期間中の入園料を無料とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入(駐車料など)の増加を図った。	10,207人
メモリアルフェア	26年11月1日 ～26年11月3日	開園38周年を記念し、ガーデンシクラメンのプレゼントやコンサートなどを実施した。	4,206人

e 施設の維持管理・園内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
QRコードによる 情 報 提 供	通 年	QRコードを利用して、園内植物等に関する情報を入園者に提供した。

f 施設の維持補修など

名 称	実施期間	内 容
施設の維持補修など	通 年	入園者が安全・快適に施設を利用できるよう、広島市から委託を受け、園内トイレなどの維持補修を行った。

(イ) 生物多様性の保全

a 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	件 数
ナショナルコレクション構築に関する検討会	通 年	我が国で古くから改良、栽培されてきた植物品種の保全などについて検討する公益社団法人日本植物園協会の検討会等に参画した。	検討会 3 件

b 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧植物の保全	通 年	世羅郡世羅町など広島県内の自生地において、絶滅に瀕したヤチシャジンの調査や保全活動を行った。	2件

c 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	株 数 等
生息地以外における絶滅危惧植物の保全	通 年	ヤチシャジン、ツルマンリョウ、ヒゴタイなどの日本産絶滅危惧植物及びワシントン条約掲載種を保全した。	日本産 約 120 種 ワシントン条約 74 種
園芸植物遺伝子の保護	通 年	変化アサガオ、日本サクラソウ、バラやランの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培し、種を保存した。	66 種 約 400 系統

d 植物に関する調査・研究等

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
植物に関する調査・研究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに、保護に努めた。	国内 21 回 国外 0 回
		《染色体調査》 植物の染色体情報の解明に努めた。	1 科 6 種
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。	2 件

名 称	実施期間(日)	内 容	件数等
新品種の保護	通 年	独立行政法人種苗管理センターからの委嘱により、種苗法に基づく新規出願品種の現地調査員、種苗登録に関する基準案作成検討委員として活動し、新品種の保護に努めた。	種苗特性分類調査 3 件 基準案作成締結委員会 1 件
各種資料の収集	通 年	植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培などの調査・研究に役立てた。	植物標本等 243 点
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	27年 2月 6日	植物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「変わり葉ゼラニウムの園芸史」と題して発表した。	参加者 80 人

(ウ) 教育・普及

a 社会教育への協力

名 称	実施期間(日)	内 容	件数等
講習会・研修会等の開催及び講師の派遣	通 年	団体などからの要請に基づいて、随時、植物公園で講習会・研修会などを開催するとともに、職員を講師として派遣した。	17 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)を行った。	4 件 4 人
先生のための植物公園 自然観察会	26年 6月 8日・ 11月 9日	幼児教育や小学校低学年の教員を対象に、鈴峯女子短期大学の松崎教授による植物の講義や熱帯果樹、ドングリなどの観察を行った。	12 人 53 人

b 市民・団体との協働

名 称	実施期間	内 容	活動者数等
植物解説ボランティア	通 年	園内での植物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 解説ボランティア登録人数：60人	活動延べ人数 1,574 人
植物管理ボランティア	通 年	園内での植物管理に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 管理ボランティア登録人数：18人	活動延べ人数 420 人
地域団体などとの協働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」の桜樹育成指導や文化活動などにより、地域の活性化を図った。	12 件 《内訳》 造幣局桜樹育成指導 1 件 造幣局今年の花選定 1 件 佐伯区百人委員会花部会 9 件 重慶の日協力 1 件

名 称	実施期間(日)	内 容	活動者数等
グリーン・レガシー ヒロシマへの協力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付 する活動に対し、種子の保存や送付の協力を行った。	11 件
江戸の園芸体験講座 ～ 変化 朝 顔 ～ ((公財) 広島市文化財団)	26年 5月10日	朝顔の歴史と栽培概要	35 人
	26年 6月 7日	植木鉢づくりと葉の選抜	36 人
	26年 7月 5日	江戸の園芸	36 人
	26年 8月31日	種とりと試験撒き	32 人
	26年11月22日	種子交換会	17 人
花と緑の広島づくり の 推 進	26年5月20日・ 6月17日・ 7月15日・ 9月11日・ 16日・ 22日・ 10月10日・ 11月18日	花と緑の広島づくりネットワークと栽培講習会などを開催し、花壇作りに必要な基礎知識について指導した。	19 人 25 人 24 人 16 人 24 人 16 人 26 人 16 人

【愛好者団体等による展示会】

名 称	実施期間	内 容
花 の 写 真 ・ 絵 画 掲 示 板	通 年	写真愛好家などに発表の場を提供するとともに、季節の花情報を紹介した。
おし花美術作品展	26年4月5日 ～26年5月6日	身近な草花や花木を素材としたおし花の美術作品を展示した。
エ ビ ネ 展	26年4月26日 ～26年5月1日	日本の野生ランの中で最も美しく、花色の多いエビネを展示した。
春 の 山 野 草 展	26年4月26日 ～26年5月1日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
ク レ マ チ ス 展	26年5月3日 ～26年5月11日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が美しいクレマチスの仲間を展示した。
趣味のボタニカルアート展	26年5月8日 ～26年6月12日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示した。
セッコク・長生蘭展	26年5月10日 ～26年5月15日	日本の野生ランであるセッコクの開花株とセッコクの斑入りなどの特徴を持つ長生蘭を展示した。
初夏の小品盆栽展	26年6月14日 ～26年6月19日	フウチソウやツツジなど、初夏に見ごろの植物を小鉢仕立てで展示した。

名 称	実施期間	内 容
ウチョウラン展	26年6月14日 ～26年6月19日	初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを岩付けや鉢づくりで展示した。
サボテン展	26年6月21日 ～26年7月3日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示した。
写生大会作品展	26年6月21日 ～26年7月10日	植物公園で開催した写生大会の優秀作品を展示した。
私の好きな花たちの写真展	26年7月12日 ～26年7月31日	身近な植物を題材とした写真を展示した。
ボタニカルアート教室作品展	26年8月2日 ～26年8月31日	ボタニカルアート(植物細密画)教室の作品を展示した。
植物友の会作品展	26年9月2日 ～26年9月7日	広島市植物公園植物友の会会員による鉢花や植物写真、美術作品などを展示した。
秋の山野草展	26年9月20日 ～26年9月25日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
ガーデニングコンテスト作品展	26年10月4日 ～26年10月13日	一般公募によるコンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを展示した。
ハンギングバスケット展	26年10月8日 ～26年10月13日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
野生きのこ展	26年10月18日 ～26年10月19日	広島県に自生する様々なキノコを展示した。
寒 蘭 展	26年11月5日 ～26年11月17日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
新春小品盆栽展	27年1月4日 ～27年1月8日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立てで展示した。
盆 栽 展	27年1月10日 ～27年1月15日	直幹、模様木、文人作りなど様々な樹形が楽しめるサツキなどの盆栽を展示した。
植 物 写 真 コンテスト作品展	27年1月17日 ～27年2月5日	園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示した。
植 物 日 本 画 展	27年2月7日 ～27年2月26日	四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示し、作品などについて解説した。
おもと(万年青) 名 品 展	27年2月21日 ～27年2月25日	葉の斑入り模様や形の変化がおもしろい万年青を展示した。

名 称	実施期間	内 容
フラワーデザイン展	27年2月28日 ～27年3月5日	切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示した。
クリスマスローズ展	27年2月28日 ～27年3月8日	多彩な花色と品種に人気があるクリスマスローズを展示した。
「草木染の世界」展	27年3月7日 ～27年4月2日	草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示し、作品などについて解説した。

c 植物友の会の活動

会員内訳

(個人会員：119人、家族会員：20家族48人、賛助会員：9社)

名 称	実施日(回数)	内 容	参加者数等
例 会	26年 5月11日	園内植物観察	37人
	26年 7月13日	「春の野外観察会～秋吉台～報告(スライド)」夏の園芸作業	29人
	26年 9月 7日	秋の園芸作業及び園内植物観察	34人
	26年11月 9日	「秋の野外観察会～秋吉台～報告(スライド)」冬の園芸作業及び園内植物観察	23人
	27年 1月11日	「シンガポールの植物園を往く」(海外植物調査講演会)及び園内植物観察	36人
	27年 3月 1日	総会 園内植物観察など	34人
会 誌 の 発 行	年 4 回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。	夏号 350冊 秋号 300冊 冬号 300冊 春号 300冊
野 外 観 察 会	26年 5月25日	長者ヶ森などの観察を行った。 場所：山口県美弥市秋吉台 講師：広島大学大学院教授 山口 富美夫氏	30人
	26年 9月26日	秋の七草などの観察を行った。 場所：山口県美弥市秋吉台 講師：広島大学大学院教授 中坪 孝之氏	24人
	26年12月 6日	植物公園内の観察を行った。 場所：植物公園 講師：植物公園主任技師 平井 健一郎	11人
講 習 会	26年 8月26日	トンベヤを材料に草木染め講習会を行った。	9人

d 講座その他催し物の開催

(a) 講座

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	26年 5月27日	初めて作るハンギングバスケット	24人
	26年11月15日	春まで楽しめるハンギングバスケット作り	30人
暮らしに役立つ ハーブ講座	26年 7月26日	ハーブを使った“料理”“香り使い”“美容 と健康”について	30人
	26年 8月 2日		30人
植物学入門講座	27年 2月 4日	植物標本とは	25人
	27年 2月18日	標本の分類と同定	22人
	27年 2月25日	標本の整理	24人

(b) 講習会・実演会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
さくら写真撮影講習会	26年 4月 5日・19日	初心者向けにサクラの写真の撮り方について指導した。	20人 26人
緑のカーテン講習会	26年 4月26日	アサガオやゴーヤなどを使った緑のカーテン作りについて指導した。	6人
春の山野草実演会	26年 4月27日	春の山野草の栽培方法について実演指導した。	30人
エビネ実演会	26年 4月29日	エビネの育て方について実演指導した。	26人
クレマチス実演会	26年 5月 5日	クレマチスの育て方について実演指導した。	36人
セッコク実演会	26年 5月11日	日本の野生ランであるセッコクの育て方について実演指導した。	8人
ボタニカルアート 色付け体験	26年 5月11日	ボタニカルアート(植物細密画)の色付け体験会を実施した。	15人
バラの香りの抽出体験	26年 5月25日	小型の蒸留機を用いて、バラの花からローズオイルなどの抽出を行った。	121人
バラ作り講習会	26年 6月 1日	バラの育て方について指導した。	312人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ハナショウブ実演会	26年 6月 7日	ハナショウブの育て方を実演指導した。	40 人
アジサイ実演会	26年 6月 8日	アジサイの育て方について実演指導した。	60 人
小品盆栽実演会	26年 6月15日 27年 1月 4日	小品盆栽の仕立て方、育て方について実演指導した。	10 人 16 人
植物写真撮影講習会	26年 7月20日	初心者向けに植物の写真の撮り方について指導した。	32 人
食虫植物実演会	26年 7月27日	食虫植物を紹介し、栽培方法や魅力について実演指導した。	100 人
ボタニカルアート講習会	26年 8月17日	ボタニカルアート(植物細密画)の描き方について指導した。	17 人
秋の山野草実演会	26年 9月21日	秋の山野草の栽培方法について実演指導した。	20 人
コーヒー講習会	26年 9月28日	コーヒーの種類や味わい方を指導した。	25 人
ガーデニングコンテスト受賞作品解説	26年10月 5日	受賞作品と審査のポイントを解説した。	16 人
ガーデニングライブ(デモンストレーション)	26年10月 5日	ハンギングバスケット制作の実演を実施した。	9 人
紅茶講習会	26年10月26日・ 11月16日	紅茶の種類や味わい方を指導した。	30 人 24 人
寒蘭実演会	26年11月 9日	寒蘭の育て方について実演指導した。	11 人
クリスマスリース作り講習会	26年11月23日	クリスマスリースの作り方について指導した。	35 人
チョコの原料の磨砕実演会	27年 2月11日	広島大学作製のカカオニブ磨砕装置によりドロドロとした状態のカカオマスができる工程について実演解説した。	180 人
植物スケッチ講習会	27年 2月22日	植物のスケッチの仕方について指導した。	18 人
おもと(万年青)実演会	27年 2月22日	万年青の栽培管理について実演指導した。	25 人
クリスマスローズ実演会	27年 2月28日・ 3月 1日・ 3月 7日・ 3月 8日	クリスマスローズの育て方について実演指導した。	51 人 16 人 21 人 64 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
洋ラン実演会	27年 3月 1日	洋ランの育て方について実演指導した。	15人
フラワーデザイン 実 演 会	27年 3月 1日	簡単なフラワーアレンジについて実演指導した。	35人
洋ラン栽培講習会	27年 3月14日 3月15日 3月21日	洋ランの栽培方法について指導した。	27人 24人 23人
しいたけ栽培講習会	27年 3月21日	シイタケの植菌とその後の管理について指導した。	52人
草木染講習会	27年 3月22日	様々な草や木を使った染色方法について指導した。	33人

(c) 講演会・展示解説

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数
香りの講演会	26年 5月18日	バラの香りとその利用方法について講演した。	65人
ハーブ講演会	26年 5月25日	「ハーブの世界をマーケティングする」と題して、日本アロマ環境協会の宇田川僚一氏による講演を行った。	100人
サボテン展解説	26年 6月22日	サボテンについて解説した。	70人
変化朝顔展解説	26年 8月24日	変化咲きアサガオについて解説した。	10人
蘭花譜展 セレクション ギャラリートーク	26年12月 7日	蘭花譜展の作品等について解説した。	12人
カカオガイドツアー	27年1月31日 ～27年2月15日 (土・日・祝日)	カカオとその実について解説した。	375人
チョコレートの サイエンスロマン 講演会	27年 2月 8日	神の食べ物「チョコレート」とその原料であるカカオの不思議な世界について、広島大学名誉教授の佐藤清隆氏による講演を行った。	43人
植物日本画展 ギャラリートーク	27年 2月22日	植物日本画展の作品等について解説した。	9人
洋ラン講演会	27年 3月 8日	「中国・マレーシアのランについて」と題して、日本蘭協会の橋本輝彦氏による講演を行った。	17人
「草木染の世界」展 ギャラリートーク	27年 3月22日	「草木染の世界」展の作品等について解説した。	15人

(d) コンクール

名 称	実施期間(日)	内 容	応募点数等
ラン 審 査 会	26年 5月 3日 26年10月25日 27年 2月27日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン 展展示協力団体から出品されたランの 審査を行い、優秀作品を表彰した。	24人 125点 18人 113点 81人 787点
写 生 大 会 (中国新聞社共催)	26年 5月17日	幼児、小・中学生を対象に、植物公園の 植物や園内風景を題材とした写生大会 を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 576点 入選 146点
ガ ー デ ニ ン グ コ ン テ ス ト	26年8月1日 ～26年9月15日	コンテナガーデン(花の寄せ植え)と ハンギングバスケットを一般公募し、 優秀作品を表彰した。	応募 49点 入選 37点
植物写真コンテスト	26年9月1日 ～26年11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした 写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 416点 入選 61点

(e) 観察会・観賞会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	26年 4月 8日・26日	モクレンの仲間やハンカチノキなどの 観察を行った。	28人 32人
	26年 5月 13日・24日	ナンジャモンジャやヤマボウシ などの観察を行った。	23人 27人
	26年 6月 10日・28日	ハナショウブやアジサイなどの観察を 行った。	36人 38人
	26年 7月 8日・26日	ネムノキやヒゴタイなどの観察を行った。	11人 28人
	26年 8月 12日・23日	レンゲショウマやサギソウなどの観察 を行った。	19人 16人
	26年 9月 9日・27日	オオモクゲンジやハギなどの観察を 行った。	23人 16人
	26年10月 14日・25日	原種シクラメンやホトトギスなどの 観察を行った。	17人 21人
	26年11月 11日・22日	カエデや紅葉などの観察を行った。	21人 27人
	26年12月 9日	熱帯の植物の観察を行った。	12人
	27年 1月 13日・24日	ピンクボールやソシンロウバイなどの 観察を行った。	16人 33人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	27年 2月10日 2月28日	マンサクやセツブンソウなどの観察を行った。	44人 42人
	27年 3月10日 3月28日	しだれ梅やヒスイカズラなどの観察を行った。	14人 45人
大温室空中散歩	26年 4月 20日・27日 29日	大温室内の地上10mにある通路を歩きながら、熱帯植物やランの観察を行った。	298人
	26年 5月 3日～6日		603人
	26年10月 4日・5日 11日・12日 13日		465人
	27年 3月 1日・7日 8日		393人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	26年10月19日	西城川で河原の植物や昆虫の観察及び化石の採集を行った。また、比和自然科学博物館を見学した。 場所：庄原市門田町、比和町	67人
野生きのこ観察会	26年10月19日	園内のキノコの観察を行った。	42人
野鳥観察会	27年 1月12日	園内に飛来する野鳥の観察を行った。	27人

(f) 植物教室その他催し物

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
ジュニアプロジェクト	26年 4月20日 5月18日 6月15日 7月20日 8月17日 9月21日 10月25日 11月16日 12月21日 27年 1月18日 2月15日 3月15日	小学生を対象に、自然の中での遊びを通して、生きものの知識の習得や自然界の不思議を体験できるイベントを開催した。	11人 40人 35人 63人 40人 44人 21人 74人 11人 44人 27人 38人
オリエンテーリング	26年 5月 4日 26年 7月12日 ~26年 8月31日 26年10月 4日 ~26年10月13日 26年11月 1日・2日・3日	みどりの日、サマーフェア、秋のグリーンフェアや開園記念日に、オリエンテーリングなどを開催し、参加者に記念品を贈呈した。	637人 3,506人 4,000人 849人
ハナショウブ & アジサイまつり	26年6月7日 ~26年6月29日 (土・日)	ハナショウブやアジサイの見ごろの時期に合わせ、栽培講習会のほか、日本庭園においてお茶会、花の解説などを実施した。	5,407人
ふすま絵見学会	26年 6月 8日・14日 21日 26年11月 22日・23日・ 29日・30日	茶室の和心庵を公開し、ふすま絵の見学会を行った。	181人
植物公園森の幼稚園	26年 6月 8日・ 11月 9日	幼児とその保護者を対象に、園内の散策をしながら、木の実や葉っぱを使った遊びを行い、植物に親しむ機会を提供した。	5組 18人 6組 18人
親子植物体験教室	26年 7月23日	小学校1~3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて、植物について楽しく学べる教室を実施した。	11組 23人
オオオニバス 試乗体験会	26年 8月 20日・23日 24日・26日	小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。 (26日は申込制)	1,523人

e 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	件数等
自然体験学習の受入れ	通 年	植物の観察や植物とのふれあいを目的として、市立小・中学校の児童・生徒などを受け入れた。	18件 1,285人
職場体験などの受入れ	通 年	中学・高校、大学等の学外実習として、職場体験などを受け入れた。	8件 22人

f 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
サクラソウ展	26年4月19日 ～26年4月24日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
春の洋ラン展	26年5月3日 ～26年5月8日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、春のランの魅力を紹介した。
ハーブ展	26年5月17日 ～26年6月1日	ハーブとして利用されている植物とその利用方法を紹介した。
ローズ&ハーブフェスティバル	26年5月17日 ～26年6月1日	オールドローズやハーブの魅力を紹介した。
セントポーリアとイワタバコの仲間展	26年6月3日 ～26年6月12日	可憐で人気のあるセントポーリアとその仲間のイワタバコ属を展示した。
アジサイ展	26年6月7日 ～26年6月29日	花の色の変化に富むアジサイの原種や園芸品種を展示した。
夏のカラフルリーフ展	26年7月5日 ～26年7月24日	斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を展示した。
世界の食虫植物展	26年7月26日 ～26年8月14日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子供たちに人気のある世界の食虫植物を展示した。
アサガオの巨大カーテン	26年7月 ～26年11月	夏休み期間中から秋までが見ごろのアサガオを使い、展示資料館の外壁に巨大な緑のカーテンを作って展示した。
薬用植物展	26年8月16日 ～26年9月28日	トチュウやキキョウなどの薬用植物を展示した。
変化朝顔展	26年8月23日 ～26年8月31日	珍しい変化咲きのアサガオを展示した。

名 称	実施期間	内 容
特別企画展 「魅惑の飲み物 コーヒー&紅茶展」	26年9月13日 ～26年11月17日	世界中で愛飲されているコーヒーと紅茶について、原料、歴史、文化、製法などを紹介するパネルや模型を展示した。
ダリアの世界展	26年10月4日 ～26年10月13日	巨大輪などの様々な花の比較、飾り付けやアレンジなどの楽しみ方を紹介した。
秋の洋ラン展	26年10月25日 ～26年11月3日	カトレヤやパフィオペディルムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示した。
キ ク 展	26年10月25日 ～26年11月9日	日本と中国の交流の証である中国の菊花と、日本の園芸菊を使った日本風の作品を展示した。
クリスマス を飾るフラワー展	26年11月19日 ～26年12月25日	シクラメンやポインセチアなど、クリスマスにちなんだ植物とその飾り方を紹介した。
蘭 花 譜 展 セ レ ク シ ョ ン	26年11月22日 ～26年12月23日	蘭に魅せられた趣味人 加賀正太郎が監修した秀逸なランの木版画の中から、代表的な作品を展示した。
カランコエと 冬の鉢花展	27年1月17日 ～26年2月5日	カランコエを主体にシクラメンなどの冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで紹介した。
カカオとチョコの 秘 密 展	27年1月31日 ～27年2月15日	チョコレートの歴史や作り方のほか、原料であるカカオの魅力を紹介した。
春をよぶラン展	27年2月28日 ～27年3月8日	洋ランの普及・啓発を目的に、洋ラン愛好団体、生産者などと協力し大規模な展示を行うとともに、ランに関する様々なイベントを行った。
ゼラニウム展	27年3月14日 ～27年4月22日	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペラルゴニウムなどを展示した。

g 広報普及

名 称	実施期間(日)	内 容	件数等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、植物の見ごろの時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報を行った。	テレビ 49件 ラジオ 15件 新聞 41件 情報誌等 330件 計 435件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 663か所 チラシ 1,914か所

名 称	実施期間(日)	内 容	件数等
植物写真パネルなどの貸出し	通 年	植物や園内風景などを撮影した写真パネル・ポジ・ネガなどを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のPRを図った。	1 か所 1 点
インターネット・ホームページ広報	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	アクセス件数 117,366 件
メールマガジンの発行	通 年	催し物や開花状況などの情報を、登録した読者のパソコンや携帯電話に配信した。	メールマガジン登録 677 人 ミニまぐ登録 65 人
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	シャレオ中央広場、東急ハンズ、安佐市民病院において静止画を配信し、植物公園のPRを行った。	6 回
アストラムライン駅での電照広告	通 年	アストラムライン県庁前駅に電照広告を行い、植物公園のPRを行った。	1 か所
有料の広告媒体による広報	通 年	西広島タイムスに広告を行い、植物公園のPRを行った。	1 か所
マツダスタジアムにおけるPR活動	26年 7月29日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、グッズの販売などを行い、植物公園のPRを行った。	1 回

h 出版物の発行

名 称	発行部数	内 容
「栽培記録」	247 部	各種の出版物を発行、配付して、国内外の植物園・大学・各関係機関と知識などの交換を行い、相互の交流を深め、植物園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物園事業の周知を図った。
「栽培の手引き」	680 部	
「種子目録」	164 部	
「年 報」	70 部	

i 植物に関する相談

名 称	実施期間	内 容	件 数
植物園芸相談	通 年	植物の栽培方法など、植物に関する相談を受けて助言指導した。	2,799 件

エ 昆虫館の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の収受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや観察会その他催し物の開催など各種事業を実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、涵養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

(ア) 昆虫の飼育・展示など

a 昆虫の飼育・展示

〔展示場所〕 主な展示昆虫		内 容
〔パピヨンドーム〕 チョウ類		亜熱帯の花が咲き乱れるジャングルを再現した温室に、オオゴマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ツマベニチョウ、クロテンシロチョウなど10種500頭以上の沖縄産チョウ類を放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目の当たりに観察できる展示を行った。
〔パピヨンドーム〕 イトトンボ類		キイトンボなどのイトトンボ類約150頭を放し、展示を行った。
〔昆虫ランド〕 外国産昆虫		ヘラクレスオオカブトムシ、ハナビラカマキリ、ニジイロクワガタなど、子どもに人気のある外国産昆虫を展示した。
陸 生 昆 虫	〔昆虫ランド〕 夜行性昆虫	オオクワガタ、カブトムシ、タイワンクツワムシ、カマドウマなど夜に活動する昆虫に照明を昼夜反転させて展示した。入館者が自由にスイッチを押すことで、スポット照明が点灯して、野外で懐中電灯を照らしながら昆虫を観察する状況を再現した。鳴く虫については、小型マイクとスピーカーを使い、鳴く姿と鳴き声を同時に観察できるよう展示した。
	〔昆虫ランド〕 昼行性昆虫	オオカマキリ、ナナホシキンカメムシ、タイワンツチイナゴなど昼に活動する昆虫を展示した。
	〔昆虫ランド〕 季節の昆虫	ハンミョウ、オンブバッタ、ヒナカマキリなど広島県に分布し、季節の移り変わりを特に感じさせる昆虫を展示した。
〔昆虫ランド〕 水生昆虫		ゲンゴロウ、タガメ、ミズカマキリなどの水生昆虫をそれぞれの生息環境にすむその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類、甲殻類）とともに展示した。ゲンゴロウ類については1日3回の餌やりショーも実施した。
〔昆虫ランド〕 職員おすすめ！旬の昆虫		ツチハンミョウ、ヤマユガの幼虫、ウラギンシジミの幼虫など、飼育技術が確立していない、あるいは出現期が短く、長期の飼育には向かない昆虫を展示した。
〔昆虫ランド〕 昆虫以外の陸生節足動物		昆虫との違いを観察することにより、昆虫に関する理解や知識を深めるため、一般的に昆虫と間違えやすいオオゲジ、サソリ、タランチュラなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示した。
〔昆虫ランド〕 なつかしい身近な生き物		アメリカザリガニ、スジエビ、モリアオガエルのオタマジャクシなど40代以上の人が子どもの頃、遊びのなかで出会っていた昆虫以外の小動物を展示した。

【昆虫の飼育展示数】

(平成27年3月31日現在)

区 分	種 類	頭 数
チョウなど(パピヨンドーム)	13種	645頭
外国産昆虫	45種	560頭
水生昆虫	11種	70頭
夜行性昆虫	27種	489頭
昼行性昆虫	28種	642頭
昆虫以外の小動物	24種	85頭
合 計	148種	2,491頭

b 昆虫の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示昆虫の維持及び種の保存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のためのチョウその他の昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や鹿児島県沖永良部島などでチョウ類やバッタ、クワガタ、カメムシ類などの昆虫を採集した。
昆虫の交換	近交弱勢などを防止するため、他の昆虫展示施設と余剰昆虫を交換した。 譲受け：クロテンシロチョウなど3種 譲渡し：オオゴマダラなど3種
チョウその他の昆虫の累代飼育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類13種、その他の昆虫約120種を累代飼育した。
新しい展示分野開拓のための採集	新しい展示分野を開拓するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や石垣島などで、ゲンゴロウ類などの水生昆虫、タイワンツチイナゴ等の大型バッタ類、キンカメムシ類、ゴキブリ類、ナナフシ類、甲虫類などを採集した。
外国産昆虫等の導入と飼育	アフリカ産の大型ハナムグリ、カナブン等の外国産昆虫及び昆虫以外の大型多足類を導入し、累代飼育の確立に努めた。
「簡易繁殖場」におけるカブトムシの繁殖	昆虫好物樹木園に簡易繁殖場を1基設置し、餌となる腐葉土を作るため落ち葉を集めて投入して、繁殖の準備を行った。
飼育昆虫の成育管理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理のほか、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

c 入館料の収受（利用料金制）

【入館状況】

区 分				入館者数	使用料		
有料入園者	個人	大人	18歳以上65歳未満	510円	21,382人	10,904,820円	
			65歳以上	170円	2,561人	435,370円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	131人	22,270円	
	年間パスポート	購入	大人	18歳以上65歳未満	1,540円	1,154人	1,777,160円
				65歳以上	510円	71人	36,210円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	0人	0円
		提示	大人	18歳以上65歳未満	—	6,083人	—円
				65歳以上	—	407人	—円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	1人	—円
	団体	大人	18歳以上65歳未満	430円	801人	344,430円	
			65歳以上	130円	2人	260円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	1人	130円	
	優待割引	大人	18歳以上65歳未満	430円	24人	10,320円	
			65歳以上	130円	0人	0円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	0人	0円	
	小 計				32,618人	13,530,970円	
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)				58,132人	0円		
合 計				90,750人	13,530,970円		

d 利用促進

名 称	実施期間(日)	内 容	入館者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に昆虫館の魅力に触れる機会を提供するため、動物園・植物園と共通して利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 1,225枚

名 称	実施期間(日)	内 容	入館者数等
休館日の開館	26年 4月30日 26年 7月23日 26年 7月30日 26年 8月 6日 26年 8月13日 26年 8月20日 26年 8月27日 26年10月 1日 26年10月 8日 26年10月15日 26年10月22日 26年10月29日	ゴールデンウィーク、夏休み及び10月の休館日を開館し、利用者に対するサービスの向上及び入館者の増加を図った。	入館者数 71人 196人 198人 229人 1,218人 106人 376人 196人 101人 219人 154人 100人 合計 3,164人
夏休み広島ミュージアムめぐりスタンプラリー (動物園・植物園・昆虫館・(公財)広島市文化財団・(公財)広島平和文化センター・(公財)広島原爆障害対策協議会・広島高速交通圏共同事業)	26年 7月19日 ～26年 8月31日	市内の文化施設(12施設)をめぐりスタンプラリーを実施した。(特典:5施設のスタンプを集める毎に1施設へ無料入館、又はオリジナル缶バッジ進呈)	昆虫館でのラリー用紙配布数 1,000枚 昆虫館での特典利用者数 56人 (内訳:無料入館18人 缶バッジ38人)
開園25周年記念行事 (広島市森林公園協働事業)	26年11月 2日 ～26年11月 3日	昆虫館入館者を対象として記念シールの無料配布を行った。 11月3日には松井市長を招いて25周年記念式典を開催した。(式典の他、記念樹の植樹、和太鼓演奏、消防音楽隊演奏等のイベントも開催した。)	入園者数(入館者数) 11/2 887人(387人) 11/3 4,178人(2,467人)

e 施設の維持管理・館内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	入館者に安全・快適な観察環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利用案内	通 年	入館者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。

(イ) 生物多様性の保全

a 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
希少昆虫の生態調査及び自然環境保護の推進	通 年	ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、ヒョウモンモドキ保全地域協議会に参加し、環境省、広島県、三原市、廿日市市と連携してミヤジマトンボ、ヒョウモンモドキ等の希少昆虫の調査や生息地の環境保全活動を行った。	31 件 《内訳》 ミヤジマトンボ 13件 ヒョウモンモドキ 18件

b 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	生息地域における住民との協働により、ギフチョウの保護活動を行うとともに、地域の活性化を図った。	1 件 《内訳》 安佐北区玖谷 1件

c 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	26年7月 ～27年3月	広島県から委託を受け、「特定野生生物種ミヤジマトンボ」の採卵、孵化、人工飼育、放流を実施するなど、日本の絶滅危惧昆虫の保全に取り組んだ。	調査・採卵 7月・8月 孵化・人工飼育 8月～12月 放流 12月 (放流頭数200頭)

d 昆虫に関する調査・研究等

名 称	実施期間(日)	内 容
昆虫相の調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで採集と昆虫相の調査を行い、ゲンゴロウ等の水生甲虫、草原性のチョウ類などの希少昆虫のほか、限定した場所にしか生息しないカマドウマ類など分布上希少な昆虫の生息状況を記録した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。
各種資料の収集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	27年 2月 6日	昆虫館の研究成果を市民に発表する場を設け、昆虫館友の会と協力して、6年間にわたって調査している東広島市志和町のため池に生息するアカトンボ類の種類と頭数の減少と原因と思われる農薬との関係について発表した。(参加者 80人)

(ウ) 教育・普及

a 社会教育への協力

名 称	実施期間	内 容	件数等
講習会・観察会への講師の派遣	通 年	公民館、児童館、その他の公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	4 件 4,572 人
大学との連携	通 年	昆虫をテーマとした講師の派遣、情報交換を行った。	15 件 374 人

b 学校への職員派遣

名 称	実施期間	内 容	件数等
出張自然体験活動	通 年	命の大切さを伝えるため、幼稚園・保育園に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験を行った。	380 件 10,032 人
総合的な学習時間の支援	通 年	小学校に職員を派遣し、昆虫及び自然環境をテーマとした総合学習の指導を行った。	8 件 245 人

c 市民・団体との協働

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数
昆虫解説・作業ボランティアの育成	通 年	館内で昆虫解説やふれあい体験活動などに当たるボランティアや、昆虫の住みやすい環境づくりのために館周辺の樹木や植物の維持管理などの作業に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 ボランティア総数：14人	活動延べ人数 6 人
ボランティアとの共同イベント	通 年	本の読み聞かせなどボランティア主催のイベントを支援した。	活動延べ人数 1 人
昆虫ネイチャークラフト (広島市森林公園)	26年 4月 5日	木の枝や実を材料とした貼り絵、工作の体験イベントを行った。(招聘講師：広島県ネイチャーゲーム協会会員)	143 人

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数
ハロウィンむしむしおぼけやしき （広島市森林公園）	26年10月25日	ハロウィンに合わせた夜間イベントとして、昆虫や森に関するクイズ、パズルゲーム、お菓子の配布、夜の昆虫館探検、びっくりオバケとの出会いやコスプレ体験などを行った。	208 人
木の実・落ち葉で遊ぼう （広島市森林公園）	26年11月22日 26年11月23日 26年11月24日	秋の木の実や落ち葉を使って、人形、ステンドグラス、葉や貼り絵などの工作教室を実施した。（招聘講師：広島県ネイチャーゲーム協会会員）	103 人 230 人 203 人 合計 536 人

d 昆虫館友の会の活動

会員内訳

（個人会員：5 人、家族会員：20 家族 86 人）

名 称	実施日・回数	内 容	参加者数等
講 習 会 等	26年10月 4日	ため池のトンボの種の移り変わりの調査（定点観測調査、6年目）を行った。 場所：東広島市志和町	20 人
	26年11月23日	外国産カブトムシ類の標本作製を体験した。 場所：昆虫館	9 人
	27年 3月 8日	講演会「昆虫館友の会によるアカネ属のモニタリング調査」を開催した。 場所：昆虫館	23 人
	27年 3月 8日	（公財）広島市文化財団文化財課の職員を講師に迎えて、火起こし、古代米の試食を体験した。 場所：森林公園内林業体験広場	23 人
会 誌 の 発 行	年 1 回	友の会の活動、昆虫に関する知識や話題を載せた会誌「むしむし倶楽部」を発行した。	200 冊
野 外 観 察 会	26年 4月20日	ギフチョウの観察を行った。 場所：安佐北区玖谷埋立地	14 人
	26年 5月24日	カエデの花に集まるカミキリ類など初夏の虫の観察を行った。 場所：三原市久井町	5 人
	26年 6月 7日	ヒョウモンモドキの観察を行った。 場所：三原市久井町	8 人
	26年 6月22日	ゲンジボタルの観察を行った。 場所：安芸高田市向原町保垣	20 人

名 称	実施日・回数	内 容	参加者数等
希少昆虫の生息地の環境整備	26年 5月10日	ギフチョウの産卵数の調査と下草刈りを行った。 場所：安佐北区玖谷埋立地	6人
	26年 5月24日	ヒョウモンモドキの生息地の食草保護と雑草刈りを行った。 場所：三原市久井町	5人
	26年 11月 8日	ヒョウモンモドキの生息地の雑草刈りを行った。 場所：三原市久井町	5人

e 観察会その他催し物の開催

(a) コンクール

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数
ぼくとわたしのむし むしじまん	応募期間 6/1~7/30 作品展示 7/19~8/30	昆虫をテーマとした絵画、工作のコンテストを実施し、優秀作品については表彰状と賞品を郵送した。	応募者数 268人 応募点数 268点 入賞点数 3点
むしむし写真 コンテスト	応募期間 5/1~9/30 作品展示 1/10~3/1 表彰式 1/11	昆虫をテーマとした写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。	応募者数 92人 応募点数 326点 入賞点数 35点
まゆ玉細工 コンテスト	応募期間 1/10~3/1 作品展示 1/10~3/1 表彰式 3/29	カイコのまゆを材料にした作品のコンテストを実施し、優秀作品を表彰した。	応募者数 49人 応募点数 56点 入賞点数 13点

(b) 観察会

名 称	実施日	内 容	参加者数
季節の虫さがし	26年 5月11日	アゲハチョウ、コツバメ、ハルゼミなど春から初夏の虫の観察を行った。	80人
	26年 7月 6日	ミヤマクワガタ、コクワガタなどの初夏から夏の虫の観察を行った。	10人
	26年 9月 7日	ツクツクボウシ、キトンボ、ジャコウアゲハなど晩夏の虫の観察を行った。	31人
	26年10月 5日	ハラビロカマキリ、ヤママユガ、ツヅレサセコオロギなど秋の虫の観察を行った。	11人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
虫 み っ け !	26年 5月18日 (同日2回実施)	ヒシバッタ、オカダンゴムシ、アゲハの幼虫など足元で見つけられる昆虫や小動物を観察した。(幼児と保護者対象)	44 人
昆虫ナイトウォーク	26年 7月20日	夜に活動する昆虫、樹液に集まる昆虫や灯りに集まる昆虫の観察を行った。	87 人
敬老の日イベント じいばあと虫みっけ!	26年 9月15日	オンブバッタ、ナナフシ、ヒメカマキリなど足元で見つけられる昆虫や小動物を観察した。(幼児と祖父母対象)	23 人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	26年10月19日	西城川で河原の植物や昆虫の観察及び化石の採集を行った。また、比和自然科学博物館を見学した。 場所：庄原市門田町、比和町	67 人

(c) 昆虫教室その他催し物

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数
飼 育 室 探 検 ツ ア ー	26年 4月12日	普段は見ることのできない飼育室や温室などを開放し、昆虫館の仕事や昆虫への興味を深める機会を提供した。	42 人
	26年 5月10日		31 人
	26年 5月17日		85 人
	26年 5月24日		62 人
	26年 9月 6日		28 人
	26年 9月27日		27 人
	27年 1月17日		21 人
	27年 1月24日		21 人
	27年 2月28日		26 人
	合計	343 人	
むしむし折り紙教室	26年 4月13日	幼児や児童とその保護者を対象に、折り紙でいろいろな昆虫を作る教室を開催した。	66 人
親 子 で 虫 タ ッ チ !	26年 6月 1日	幼児や児童とその保護者を対象に、年齢に合わせていろいろな昆虫に触れ合える体験イベントを実施した。	420 人
	26年 6月 8日		203 人
	26年 6月15日		320 人
	26年 6月22日		202 人
	26年 6月29日		618 人
	27年 3月15日		231 人
	27年 3月21日		320 人
	27年 3月22日		476 人
	27年 3月29日		490 人
	合計	3,280 人	

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数
む し む し サマースクール	26年 7月19日 26年 7月26日 26年 8月 2日 26年 8月16日 26年 8月23日 26年 8月30日	小学生を対象に、昆虫館の仕事を理解して もらうことを目的として、夏休みのイベン トや昆虫飼育の補助を行ってもらった。	17人 15人 7人 11人 8人 10人 合計 68人
夏 休 み 子ども昆虫相談	26年 7月19日 ~26年 8月31日	夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関 する相談を受けて、助言、指導を行った。	11件
昆 虫 館 で クリスマス！！	(福引) 26年12月 6日 26年12月 7日 26年12月14日 (蜜ろう工作) 26年12月13日 26年12月20日 26年12月21日 26年12月23日	12月6日からクリスマスまでの土・日曜 日、祝日に福引(賞品は世界のカブト・ クワガタの標本)や蜜ろうを使ったキャン ドル・クレヨン作り体験イベントなどを 実施した。	(福引) 381人 (うち当選者14人) (キャンドル・クレヨン作り) 54人 合計 435人
お正月に虫みくじ！	27年 1月4日 ~27年 1月18日	一年の運勢をいろいろな昆虫に見立ててユ ーモラスに書いたおみくじを入館者に引い てもらった。 またオリジナル昆虫絵馬に新年の願いを書 き込んでもらい、特設会場に設置した木に くくりつけて、展示した。	219人
まゆ玉細工工作	27年 1月10日 ~27年 3月 1日	まゆ玉を使って自由に工作する工作教室 を開催した。	336人
昆 虫 館 で バレンタイン ラブラブケーキ	27年 2月11日 27年 2月14日	カップルを対象に、パピヨンドーム内で、 チョウが集まる特殊な薬品をつけた花束 を持ってもらい、二人の記念写真を撮影し て、オリジナルミニアルバムとともに贈呈 した。	100人 62人 合計 162人
啓 蟄 イ ベ ン ト カブトムシの幼虫を 飼ってみよう！	27年 3月 7日	カブトムシの幼虫の飼育方法を説明した あと、幼虫を配布した。カブトムシの飼育 についての疑問や質問は、通年で受付けて 回答した。	18組 58人
昆 虫 館 で ホワイトデー ラブラブハット	27年 3月 8日 27年 3月14日	カップルを対象に、パピヨンドーム内で、 チョウが集まる特殊な薬品をつけた帽子 や花束を用意し、二人の記念写真を撮影し て、オリジナルミニアルバムとともに贈呈 した。	310人 120人 合計 430人

f 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	件数等
自然体験学習の受入れ	通 年	昆虫の観察や昆虫とのふれあいを目的として、幼稚園・保育園の園児や小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	234 件 7,461 人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の職場体験学習に協力し、昆虫館の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	2 件 7 人

g 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
スプリングフェスタ 「春のチョウまつり」	26年4月19日 ～26年5月6日	昆虫の中でも人気の高いチョウをテーマとして、種類や生態、体の構造、成長のしかたなど、生きた幼虫や成虫の標本、写真パネルなどを展示した。またチョウの翅を使った葉作り、チョウと一緒に記念撮影など様々な関連イベントを実施した。
むしむしおえかき	26年 5月 1日 ～27年 3月31日	広島市立の保育園の園児が描いた虫の絵を保育園ごとにまとめて展示した。(1か月ごとに展示替え)
世界のカブト・クワガタ	26年7月19日 ～26年8月31日	世界の生きたカブトムシ・クワガタムシを展示するとともに、ふれあい体験や記念撮影、カブ・クワバトルショー、「夏休みサマースクール」などのイベントを実施し、ぼくとわたしのむしむしじまんの応募作品を展示した。
秋の鳴く虫展	26年9月13日 ～26年9月23日	美しい声で鳴く生きた秋の虫を展示した。
アルゼンチンアリとセアカゴケグモ	26年10月11日 ～26年11月9日	広島県に侵入・定着したことで大きな話題となった外来有害昆虫アルゼンチンアリ及び外来有害節足動物セアカゴケグモの生体を展示するとともに、写真パネルや解説パネルを展示してその生態や駆除の方法を解説した。またその他の外来有害動物の現状についても紹介した。
むしむし写真コンテスト入賞作品展	27年1月10日 ～27年3月1日	むしむし写真コンテストの入賞作品を展示した。
昆虫じゃないけん!	27年 1月17日 ～27年 2月22日	タランチュラ類、オオムカデ類、オオヤスデ類、サソリ類など世界の大型節足動物の生体を展示し、その生態や分類学上の位置付け、昆虫との体のしくみの違いについて解説した。
まゆ玉細工コンテスト作品展	27年 1月10日 ～27年3月1日	まゆ玉細工コンテストの応募作品を展示した。

h 広報普及

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	テレビ 20件 ラジオ 6件 新聞 6件 計 32件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 800か所×1回 700か所×2回 チラシ(新聞折込) 110,000枚×1回 118,000枚×2回
インターネット・ホームページ広報	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	アクセス件数 47,927件
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	人通りの多い市内4か所に設置されたデジタルサイネージに施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	8件
ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービスの活用	通 年	ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービス(会員約2万人)に施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	6件
年間パスポート購入者へのイベント情報の配信	通 年	年間共通パスポート購入者の携帯電話及びパソコンに催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を配信した。	1件
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせて、昆虫カードやシールなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、昆虫館のPR及び入館者の増加を図った。	昆虫シール 5,000枚
昆虫館長の小学校教員向けPR	平成26年5月8日	昆虫館長が広島市立小学校教育研究会理科研究部会に出席して、昆虫館で実施している昆虫自然体験メニューの内容を紹介するとともに、昆虫館の展示内容や利用の方法について紹介し、PRに努めた。(参加教員73人)	1件
マツダスタジアムにおけるPR活動	26年7月29日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、昆虫ふれあい体験及びグッズの販売を行い、昆虫館のPRを行った。	1件

i 出版物の発行

名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」	標本の作り方や身近な昆虫の飼い方を分かりやすく解説したリーフレットを作製し、昆虫に関する知識の普及を図った。	1,500部
「飼ってみよう」		3,000部

j 昆虫に関する相談

名 称	実施期間	内 容	件 数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育相談、昆虫の生態の質問など、昆虫に関する相談を受けて助言指導した。	788件

② 収益事業等

ア 売店の運営など〔収1事業〕

(ア) 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営 業 場 所	内 容
安 佐 動 物 公 園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸
植 物 公 園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆 虫 館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸
中央公園ファミリープール	食堂(1か所)における飲食物の販売 売店(1か所)における飲食物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸
中央公園(定期観光バス等駐車場) 大芝公園(交通ランド)	自動販売機による清涼飲料水などの販売

(イ) 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

イ 公園及び公園施設の管理運営〔他1事業〕

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、交通ランド（大芝公園）のゴーカート使用料の収納事務及び維持管理並びに安佐動物公園及び植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、中央公園では、樹木及び被爆施設を活用して、樹木に関する知識の普及や平和について学ぶ機会を提供し、ファミリープールでは、幼児や児童、青少年の心身の健全な発達を図るため、水泳教室を開催した。

(ア) 中央公園（ファミリープールを含む）及び交通ランドの管理運営

a 入園料などの収受及びゴーカート使用料の収納事務

(a) ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入園者数	使用料	
有料入園者	個人	大人	18歳以上65歳未満	780円	34,176人	26,657,280円	
		大人	65歳以上	340円	1,580人	537,200円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	340円	36,736人	12,490,240円	
	団体	大人	18歳以上65歳未満	640円	24人	15,360円	
		大人	65歳以上	270円	0人	0円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	270円	199人	53,730円	
	小 計					72,715人	39,753,810円
	減免等入園者（障害者、その他）					26,162人	0円
	合 計					98,877人	39,753,810円

【コインロッカー利用状況】

区 分	利用回数	使用料
ロッカー利用（100円）	41,137回	4,113,700円

(b) 交通ランド

【利用状況】

区 分		利用台数	使用料	
ゴーカート	個人	1人乗り(1台1回100円)	29,498台	2,949,800円
		2人乗り(1台1回150円)	43,336台	6,500,400円
	団体	1人乗り(1台1回80円)	0台	0円
		2人乗り(1台1回120円)	378台	45,360円
	減免利用者 (高齢者、その他)	1人乗り(—)	513台	0円
		2人乗り(—)	8,273台	0円
合 計		81,998台	9,495,560円	

b 利用促進

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
交通ランドゴーカート 運休日の運行	26年4月28日	ゴールデンウィーク期間中のゴーカート 運休日に運行し、利用者に対するサービスの 向上を図った。	利用台数 40台
ファミリープール 優待利用券の発行	26年6月	入園券に園内の売店・食堂で使える割引券を セットにした優待利用券を発行し、新たな顧 客の獲得に努めた。	発行枚数 1,889枚
ファミリープール ポイントカードの発行	26年7月1日 ~26年8月31日	所定の利用回数に達した場合、次回の入園料 を免除するポイントカードを発行し、リピー ターの確保を図った。	発行枚数 33,500枚 達成枚数 390枚
ファミリープール 休園日の開園	26年8月6日	開園期間中の休園日を開園し、利用者に対す るサービスの向上及び入園者の増加を図っ た。	入園者数 376人
ファミリープール イベント開催	ゲーム大会 26年7月30日 26年8月1日 26年8月6日 26年8月8日 26年8月20日 26年8月22日	ゲーム大会を開催し、利用者に対するサービ スの向上を図った。	ゲーム大会 18回

c 施設の維持管理・園内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、プール管理棟などの建物、機械・電気などの設備やゴーカートを良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
交通ランドにおける広島市の交通安全行政への協力	通 年	交通安全教室やチャイルドシート取付講習など広島市が企画・実施する事業に協力した。
ファミリープール涼感サービスの提供	26年7月1日 ～26年8月31日	暑さ対策として、入園ゲート前と園内にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

(イ) 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

a 駐車料の収受（利用料金制）

(a) 安佐動物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車（1,380円）	1,373 台	1,894,740 円
普通自動車（450円）	110,766 台	49,844,700 円
減 免 利 用	1,968 台	0 円
合 計	114,107 台	51,739,440 円

(b) 植物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車（1,380円）	222 台	306,360 円
普通自動車（450円）	47,648 台	21,441,600 円
減 免 利 用	1,758 台	0 円
合 計	49,628 台	21,747,960 円

b 施設の維持管理

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。

(ウ) 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

a 水泳教室その他催し物の開催

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
中央公園 樹名板づくり教室	26年 5月18日	中央公園樹木の樹名板の作製や設置を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ場を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	76 人
ファミリープール 体験水泳教室	26年 7月22日 26年 7月29日 26年 8月 5日 26年 8月19日 26年 8月26日	親子を対象に、泳ぎ方や指導方法の基礎などを体験し、習得する場を提供した。また、救助する方法、救助される方法について実技を行った。	101 組 202 人
中央公園における 平和学習	26年 9月25日	市民を対象に、中央公園内にある中国軍管区司令部跡（被爆した旧防空作戦室）で、戦争体験者が当時の悲惨な状況を説明した。	14 人

b 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件数等
インターネット・ ホームページ広報 (6ページの公益目的事業に重複記載)	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 115,817 件
マスコミ広報	通 年	テレビ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 30 件 新聞 2 件 情報誌等 8 件 計 40 件
ポスター広告及び PR用チラシの配布	26年6月18日 ～26年8月31日	公共交通機関発着駅などにおいて、ファミリープールのポスター広告を行った。また、PR用チラシを作製し、公共施設などを通じて配布した。	ポスター 674 か所 チラシ 154 か所

(2) 無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

(平成27年3月31日現在)

名 称	所 在 地	区 分	現 在 高
安 佐 動 物 公 園	安佐北区安佐町大字 動物園	建 物	食堂及び軽食・喫茶等 (厨房を除く) 387.79㎡
植 物 公 園	佐伯区倉重三丁目 495番地	建 物	食堂等 (厨房を除く) 429.68㎡

7 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

決算報告書

第2 決算報告書

平成26年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	325,044,392	317,158,232	7,886,160
未収金	3,726,183	10,812,980	△ 7,086,797
商品	6,236,542	2,453,202	3,783,340
切手	25,105	8,960	16,145
流動資産合計	335,032,222	330,433,374	4,598,848
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	25,339,695	25,679,938	△ 340,243
減価償却引当資産	20,246,036	19,053,340	1,192,696
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
みどり生きものサポーター募金積立資産	337,076	0	337,076
特定資産合計	464,009,741	462,820,212	1,189,529
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 675,799	△ 491,490	△ 184,309
車両運搬具	6,683,207	8,048,207	△ 1,365,000
車両運搬具減価償却累計額	△ 5,483,897	△ 5,150,663	△ 333,234
器具備品	19,106,931	18,470,291	636,640
器具備品減価償却累計額	△ 15,475,541	△ 14,634,978	△ 840,563
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	60,730	34,288	26,442
その他固定資産合計	7,055,267	9,115,291	△ 2,060,024
固定資産合計	583,065,008	583,935,503	△ 870,495
資産合計	918,097,230	914,368,877	3,728,353

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	132,080,896	144,070,787	△ 11,989,891
未払法人税等	5,934,500	271,000	5,663,500
前受金	394,000	536,000	△ 142,000
買掛金	9,055,127	8,974,529	80,598
預り金	11,250,738	19,079,792	△ 7,829,054
賞与引当金	26,871,483	26,184,785	686,698
流動負債合計	185,586,744	199,116,893	△ 13,530,149
2. 固定負債			
退職給付引当金	391,256,859	395,204,381	△ 3,947,522
固定負債合計	391,256,859	395,204,381	△ 3,947,522
負債合計	576,843,603	594,321,274	△ 17,477,671
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
寄付金	337,076	0	337,076
指定正味財産合計	503,937,076	503,600,000	337,076
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(403,937,076)	(403,600,000)	(337,076)
2. 一般正味財産	△ 162,683,449	△ 183,552,397	20,868,948
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(34,732,970)	(33,540,274)	(1,192,696)
正味財産合計	341,253,627	320,047,603	21,206,024
負債及び正味財産合計	918,097,230	914,368,877	3,728,353

2 貸借対照表内訳表

貸借対照表内訳表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	164,043,127	146,614,771	14,386,494		325,044,392
未収金	1,567,338	1,285,855	872,990		3,726,183
商品		6,236,542			6,236,542
切手		25,105			25,105
流動資産合計	165,610,465	154,162,273	15,259,484		335,032,222
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		25,339,695			25,339,695
減価償却引当資産	520,454	19,725,582			20,246,036
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	337,076				337,076
特定資産合計	417,491,858	46,517,883			464,009,741
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 675,799			△ 675,799
車両運搬具	1,703,310	4,979,897			6,683,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 520,454	△ 4,963,443			△ 5,483,897
器具備品	4,115,380	14,991,551			19,106,931
器具備品減価償却累計額	△ 2,879,199	△ 12,596,342			△ 15,475,541
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	60,730				60,730
その他固定資産合計	2,479,767	4,575,500			7,055,267
固定資産合計	531,971,625	51,093,383			583,065,008
資産合計	697,582,090	205,255,656	15,259,484		918,097,230
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	77,421,974	40,117,919	14,541,003		132,080,896
未払法人税等		5,934,500			5,934,500
前受金	394,000				394,000
買掛金		9,055,127			9,055,127
預り金	7,455,095	3,078,871	716,772		11,250,738
賞与引当金	23,006,830	2,025,179	1,839,474		26,871,483
流動負債合計	108,277,899	60,211,596	17,097,249		185,586,744
2. 固定負債					
退職給付引当金	334,171,306	25,339,695	31,745,858		391,256,859
固定負債合計	334,171,306	25,339,695	31,745,858		391,256,859
負債合計	442,449,205	85,551,291	48,843,107		576,843,603
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
寄付金	337,076				337,076
指定正味財産合計	503,937,076				503,937,076
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(403,937,076)				(403,937,076)
2. 一般正味財産	△ 248,804,191	119,704,365	△ 33,583,623		△ 162,683,449
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(13,554,782)	(21,178,188)			(34,732,970)
正味財産合計	255,132,885	119,704,365	△ 33,583,623		341,253,627
負債及び正味財産合計	697,582,090	205,255,656	15,259,484		918,097,230

3 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	935,668	935,668	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,455,308	3,455,310	△ 2
協会賞基金受取利息	25,062	25,062	0
引当資産等受取利息	105,000	107,585	△ 2,585
受取会費			
会員受取会費	985,500	1,028,500	△ 43,000
事業収益			
利用料金収益	285,282,840	298,136,590	△ 12,853,750
指定管理料収益	980,586,397	872,580,066	108,006,331
維持補修業務等受託収益	19,664,974	19,182,688	482,286
保護増殖業務受託収益	411,480	359,632	51,848
売店売上収益		15,295,242	△ 15,295,242
売店等売上収益	187,038,261	176,904,224	10,134,037
売店等事業収益	21,495,767	24,625,694	△ 3,129,927
遊具貸出収益		1,789,200	△ 1,789,200
実費徴収金収益	3,000,319	4,066,993	△ 1,066,674
手数料収益	88,867	68,803	20,064
使用料収益	3,598,635	2,289,660	1,308,975
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	78,912,326	82,950,155	△ 4,037,829
受取動物管理助成金	672,220	709,379	△ 37,159
受取動物保護活動等助成金	300,000	269,000	31,000
受取負担金			
受取負担金	2,121,650	2,004,750	116,900
受取寄付金			
受取寄付金	5,146,379	60,000	5,086,379
受取寄付金振替額	19,860		19,860
受取協賛金			
受取協賛金	1,150,000	1,150,000	0
雑収益			
受取利息	36	18	18
雑収益	2,696,360	10,122,341	△ 7,425,981
流動負債取崩益			
賞与引当金取崩益	96,134		96,134
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	6,057,306	11,537,008	△ 5,479,702
経常収益計	1,603,846,349	1,529,653,568	74,192,781

(單位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 經常費用			
事業費			
給料	195,980,076	178,331,581	17,648,495
諸手当	173,578,012	166,777,822	6,800,190
報酬	117,387,450	110,505,027	6,882,423
賞与引当金繰入	25,032,009	24,255,230	776,779
災害補償費		170,130	△ 170,130
賃金	89,727,175	96,798,265	△ 7,071,090
退職給付費用	1,627,919	7,702,929	△ 6,075,010
福利厚生費	101,864,409		101,864,409
法定福利費		96,673,330	△ 96,673,330
退職共済掛金	216,000	228,000	△ 12,000
仕入費	86,493,494	91,981,260	△ 5,487,766
食糧費	162,688	142,896	19,792
諸謝金	4,947,810	4,082,050	865,760
諸会費	808,272	752,180	56,092
報償費	633,177	748,486	△ 115,309
旅費	2,911,268	2,844,870	66,398
通信運搬費	3,597,272	3,818,758	△ 221,486
減価償却費	1,704,900	2,131,399	△ 426,499
消耗什器備品費	810,044	827,850	△ 17,806
消耗品費	107,691,160	122,752,228	△ 15,061,068
器具備品購入費	340,600	4,113,182	△ 3,772,582
原材料費	1,065,608	1,065,469	139
委託料	273,815,900	288,174,004	△ 14,358,104
修繕費	44,959,377	58,027,851	△ 13,068,474
燃料費	32,782,859	38,814,139	△ 6,031,280
光熱水費	138,885,675	134,291,777	4,593,898
手数料	1,426,335	2,476,520	△ 1,050,185
使用料及び賃借料	13,186,133	13,169,244	16,889
保険料	2,934,512	2,619,354	315,158
租税公課費	58,464,720	32,206,709	26,258,011
負担金	1,571,316		1,571,316
補助金	656,900		656,900
協賛金	50,000		50,000
負担金、補助及び交付金		2,568,826	△ 2,568,826
広報費	2,156,915	1,705,741	451,174
商品開発費	54,799	12,776	42,023
雑費	12,720		12,720
指定管理納付金	7,201,550	4,947,530	2,254,020
指定管理返還金	98,990		98,990
固定資産除却損	7,206	1	7,205

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	16,995,000	16,001,346	993,654
諸手当	13,352,138	13,356,030	△ 3,892
報酬	10,767,360	10,362,428	404,932
賞与引当金繰入	1,839,474	1,929,555	△ 90,081
貸金	4,974,908	3,585,629	1,389,279
退職給付費用	9,847,449	14,585,680	△ 4,738,231
福利厚生費	7,291,364		7,291,364
法定福利費		6,520,512	△ 6,520,512
退職共済掛金	252,000	252,000	0
会議費	136,830	136,400	430
交際費		26,250	△ 26,250
諸謝金	428,000	429,000	△ 1,000
諸会費	459,292	369,180	90,112
報償費	4,536	4,410	126
旅費	167,840	234,160	△ 66,320
通信運搬費	933,856	605,844	328,012
消耗品費	951,053	894,235	56,818
委託料	728,717	5,419,379	△ 4,690,662
手数料	96,334	118,612	△ 22,278
使用料及び賃借料	10,881,659	9,006,577	1,875,082
負担金	613,464		613,464
協賛金	140,000		140,000
負担金、補助及び交付金		544,005	△ 544,005
経常費用計	1,575,706,524	1,580,098,646	△ 4,392,122
評価損益等調整前当期経常増減額	28,139,825	△ 50,445,078	78,584,903
当期経常増減額	28,139,825	△ 50,445,078	78,584,903
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益			
車両運搬具受贈益		1,365,000	△ 1,365,000
器具備品受贈益		800,000	△ 800,000
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	28,623	443,243	△ 414,620
経常外収益計	28,623	2,608,243	△ 2,579,620
(2) 経常外費用			
固定資産譲渡損			
車両運搬具譲渡損	1,365,000		1,365,000
経常外費用計	1,365,000		1,365,000
当期経常外増減額	△ 1,336,377	2,608,243	△ 3,944,620

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
税引前当期一般正味財産増減額	26,803,448	△ 47,836,835	74,640,283
法人税、住民税及び事業税	5,934,500	271,000	5,663,500
当期一般正味財産増減額	20,868,948	△ 48,107,835	68,976,783
一般正味財産期首残高	△ 183,552,397	△ 135,444,562	△ 48,107,835
一般正味財産期末残高	△ 162,683,449	△ 183,552,397	20,868,948
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,363,392	3,363,134	258
協会賞基金受取利息	8,354	8,354	0
受取寄付金			
受取寄付金	356,936		356,936
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 4,227,024	△ 4,206,906	△ 20,118
当期指定正味財産増減額	337,076	0	337,076
指定正味財産期首残高	503,600,000	503,600,000	0
指定正味財産期末残高	503,937,076	503,600,000	337,076
III 正味財産期末残高	341,253,627	320,047,603	21,206,024

4 正味財産増減計算書内訳表

正味財産増減計算書内訳表
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	83,542	852,126		935,668						935,668
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,455,308			3,455,308						3,455,308
協会賞基金受取利息	25,062			25,062						25,062
引当資産等受取利息					105,000		105,000			105,000
受取会費										
会員受取会費		985,500		985,500						985,500
事業収益										
利用料金収益		167,927,930		167,927,930		117,354,910	117,354,910			285,282,840
指定管理料収益		810,257,000		810,257,000		170,329,397	170,329,397			980,586,397
維持補修業務等受託収益		13,832,974		13,832,974		5,832,000	5,832,000			19,664,974
保護増殖業務受託収益		411,480		411,480						411,480
売店等売上収益					187,038,261		187,038,261			187,038,261
売店等事業収益					20,924,615	571,152	21,495,767			21,495,767
実費徴収金収益					3,000,319		3,000,319			3,000,319
手数料収益					88,867		88,867			88,867
使用料収益					3,598,635		3,598,635			3,598,635
受取補助金等								78,912,326		78,912,326
受取協会運営等補助金										
受取動物管理助成金		672,220		672,220						672,220
受取動物保護活動等助成金		300,000		300,000						300,000
受取負担金										
受取負担金	180,000	1,941,650		2,121,650						2,121,650
受取寄付金										
受取寄付金		5,146,379		5,146,379						5,146,379
受取寄付金振替額		19,860		19,860						19,860
受取協賛金										
受取協賛金		1,150,000		1,150,000						1,150,000
雑収益										
受取利息	4	32		36						36
雑収益	105,118	903,589	162,275	1,170,982	89,920	562,468	652,388	872,990		2,696,360
流動負債取崩益										
賞与引当金取崩益						96,134	96,134			96,134
固定負債取崩益										
退職給付引当金取崩益		5,745,686		5,745,686	311,620		311,620			6,057,306
経常収益計	3,849,034	1,010,146,426	162,275	1,014,157,735	215,157,237	294,746,061	509,903,298	79,785,316		1,603,846,349

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		184,290,876		184,290,876	11,689,200		11,689,200			195,980,076
諸手当		158,681,178	5,613,065	164,294,243	8,644,634	639,135	9,283,769			173,578,012
報酬		85,498,559		85,498,559	14,892,672	16,996,219	31,888,891			117,387,450
賞与引当金繰入		21,845,150	1,161,680	23,006,830	1,314,719	710,460	2,025,179			25,032,009
賃金		55,364,431		55,364,431	25,493,472	8,869,272	34,362,744			89,727,175
退職給付費用		1,627,919		1,627,919						1,627,919
福利厚生費		85,731,313	5,067,303	90,798,616	6,758,094	4,307,699	11,065,793			101,864,409
退職共済掛金					216,000		216,000			216,000
仕入費					86,493,494		86,493,494			86,493,494
食糧費		159,688		159,688	3,000		3,000			162,688
諸謝金	330,000	4,569,810		4,899,810		48,000	48,000			4,947,810
諸会費		733,072		733,072	75,200		75,200			808,272
報償費		633,177		633,177						633,177
旅費		2,744,368		2,744,368	166,900		166,900			2,911,268
通信運搬費	27,254	3,177,021	31,161	3,235,436	134,514	227,322	361,836			3,597,272
減価償却費		165,410	283,884	449,294	1,255,606		1,255,606			1,704,900
消耗什器備品費					810,044		810,044			810,044
消耗品費	1,210,981	100,405,391		101,616,372	3,663,733	2,411,055	6,074,788			107,691,160
器具備品購入費		340,600		340,600						340,600
原材料費		1,065,608		1,065,608						1,065,608
委託料	38,340	124,637,942		124,676,282	1,776,079	147,363,539	149,139,618			273,815,900
修繕費		26,441,137		26,441,137	944,681	17,573,559	18,518,240			44,959,377
燃料費		32,259,873	26,417	32,286,290	41,959	454,610	496,569			32,782,859
光熱水費		80,598,449		80,598,449	6,935,630	51,351,596	58,287,226			138,885,675
手数料	18,252	1,028,934	648	1,047,834	290,653	87,848	378,501			1,426,335
使用料及び賃借料		8,348,527	1,850	8,350,377	3,756,404	1,079,352	4,835,756			13,186,133
保険料		1,392,226	12,560	1,404,786	308,716	1,221,010	1,529,726			2,934,512
租税公課費		45,060,576	20,000	45,080,576	7,668,406	5,715,738	13,384,144			58,464,720
負担金	1,100,000	436,708		1,536,708	34,608		34,608			1,571,316
補助金	656,900			656,900						656,900
協賛金		50,000		50,000						50,000
広報費		2,036,015		2,036,015	120,900		120,900			2,156,915
商品開発費					54,799		54,799			54,799
雑費		12,720		12,720						12,720
指定管理納付金		6,664,350		6,664,350		537,200	537,200			7,201,550
指定管理返還金		98,990		98,990						98,990
固定資産除却損					7,206		7,206			7,206

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費										
給料								16,995,000		16,995,000
諸手当								13,352,138		13,352,138
報酬								10,767,360		10,767,360
賞与引当金繰入								1,839,474		1,839,474
賃金								4,974,908		4,974,908
退職給付費用								9,847,449		9,847,449
福利厚生費								7,291,364		7,291,364
退職共済掛金								252,000		252,000
会議費								136,830		136,830
諸謝金								428,000		428,000
諸会費								459,292		459,292
報償費								4,536		4,536
旅費								167,840		167,840
通信運搬費								933,856		933,856
消耗品費								951,053		951,053
委託料								728,717		728,717
手数料								96,334		96,334
使用料及び賃借料								10,881,659		10,881,659
負担金								613,464		613,464
協賛金								140,000		140,000
経常費用計	3,381,727	1,036,100,018	12,218,568	1,051,700,313	183,551,323	259,593,614	443,144,937	80,861,274		1,575,706,524
評価損益等調整前当期経常増減額	467,307	△ 25,953,592	△ 12,056,293	△ 37,542,578	31,605,914	35,152,447	66,758,361	△ 1,075,958		28,139,825
当期経常増減額	467,307	△ 25,953,592	△ 12,056,293	△ 37,542,578	31,605,914	35,152,447	66,758,361	△ 1,075,958		28,139,825
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
固定負債取崩益										
退職給付引当金取崩益					28,623		28,623			28,623
経常外収益計					28,623		28,623			28,623
(2) 経常外費用										
固定資産譲渡損										
車両運搬具譲渡損		1,365,000		1,365,000						1,365,000
経常外費用計		1,365,000		1,365,000						1,365,000
当期経常外増減額		△ 1,365,000		△ 1,365,000	28,623		28,623			△ 1,336,377
他会計振替額		51,464,832	6,952,000	58,416,832	△ 15,133,000	△ 43,940,832	△ 59,073,832	657,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	467,307	24,146,240	△ 5,104,293	19,509,254	16,501,537	△ 8,788,385	7,713,152	△ 418,958		26,803,448
法人税、住民税及び事業税					5,934,500		5,934,500			5,934,500
当期一般正味財産増減額	467,307	24,146,240	△ 5,104,293	19,509,254	10,567,037	△ 8,788,385	1,778,652	△ 418,958		20,868,948
一般正味財産期首残高	65,530,325	△ 334,499,780	656,010	△ 268,313,445	118,822,209	△ 896,496	117,925,713	△ 33,164,665		△ 183,552,397
一般正味財産期末残高	65,997,632	△ 310,353,540	△ 4,448,283	△ 248,804,191	129,389,246	△ 9,684,881	119,704,365	△ 33,583,623		△ 162,683,449

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	8,354			8,354						8,354
受取寄付金										
受取寄付金		356,936		356,936						356,936
一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	△ 3,455,288	△ 771,736		△ 4,227,024						△ 4,227,024
当期指定正味財産増減額	0	337,076		337,076						337,076
指定正味財産期首残高	413,600,000	90,000,000		503,600,000						503,600,000
指定正味財産期末残高	413,600,000	90,337,076		503,937,076						503,937,076
III 正味財産期末残高	479,597,632	△ 220,016,464	△ 4,448,283	255,132,885	129,389,246	△ 9,684,881	119,704,365	△ 33,583,623		341,253,627

5 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・先入先出法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。

賞与引当金・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小 計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	25,679,938	—	340,243	25,339,695
減価償却引当資産	19,053,340	1,192,696	—	20,246,036
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	0	337,076	—	337,076
小 計	462,820,212	1,529,772	340,243	464,009,741
合 計	574,820,212	1,529,772	340,243	576,009,741

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
小 計	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
特定資産				
緑化基金	413,634,328	(402,600,000)	(11,034,328)	(—)
広島市みどり生きもの協会賞基金	3,000,000	(1,000,000)	(2,000,000)	(—)
退職給付引当資産	25,339,695	(—)	(—)	(25,339,695)
減価償却引当資産	20,246,036	(—)	(20,246,036)	(—)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	(—)	(1,452,606)	(—)
みどり生きものサポーター募金積立資産	337,076	(337,076)	(—)	(—)
小 計	464,009,741	(403,937,076)	(34,732,970)	(25,339,695)
合 計	576,009,741	(503,937,076)	(46,732,970)	(25,339,695)

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第368回大阪府公募公債	527,795,396	547,323,825	19,528,429
第327回利付国債	899,662	938,167	38,505
合 計	528,695,058	548,261,992	19,566,934

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
広島市補助金	広島市	0	78,912,326	78,912,326	0	
助成金						
動物管理助成金	(公社)日本動物園水族館協会	0	672,220	672,220	0	
動物保護活動等助成金	(公社)日本動物園水族館協会	0	300,000	300,000	0	
合 計		0	79,884,546	79,884,546	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	835,418
特定資産受取利息の振替額	3,371,746
受取寄付金の振替額	19,860
合 計	4,227,024

8. 関連当事者との取引の内容
 関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 性	法 人 等 の 名 称	住 所	資 産 総 額	事 業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 権 の 所 有 割 合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科目	期末 残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
当 法 人 を 支 配 す る 法 人	広 島 市 中 区	広 島 市	-	-	-	理事15名中 市職員2名 元市職員4名	市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	980,586,397	指定管理料収益	0
								広島市の公園及び公園施設の維持補修等	19,664,974	維持補修業務等受託収益	0
								協会事業に対する補助	78,912,326	受取協会運営等補助金	0

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剰余金が生じた場合において、指定管理については毎年度又は指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。

6 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	26,184,785	26,871,483	26,184,785	-	26,871,483
退職給付引当金	395,204,381	2,138,407	6,057,306	28,623	391,256,859

(注)退職給付引当金の「当期減少額（その他）」は、退職金支給額の引下げに伴う取崩額である。

財 産 目 録

平成27年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	10,487,549
	預金	普通預金	運転資金として	
		広島銀行本店営業部		114,184,614
		広島銀行安支店		95,969,013
		広島銀行五日市八幡支店		77,761,186
		広島銀行福田支店		13,263,938
		広島市農業協同組合五日市中央支店		10,528,830
	振替口座	ゆうちょ銀行広島馬木郵便局		138,536
		ゆうちょ銀行日浦郵便局	運転資金として	2,406,240
		ゆうちょ銀行広島城山郵便局		168,000
		ゆうちょ銀行広島馬木郵便局		136,486
	未収金	広島東税務署、売店業務等委託先業者ほか	消費税及び地方消費税還付金、販売手数料等	3,726,183
	商品	オリジナルグッズ他	来園者等への販売用	6,236,542
	切手	販売用切手	来園者等への販売用	25,105
流動資産合計				335,032,222
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を動物公園事業等の財源として使用している。	112,000,000
特定資産	緑化基金	投資有価証券		
		第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	412,736,000
		第327回利付国債	同上	898,328
	広島市みどり生きもの協会賞基金	投資有価証券		
		第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	3,000,000
	退職給付引当資産	普通預金		
		広島銀行安支店	収益事業従事職員に対する退職金の支払いに備え管理している預金	339,695
		定期預金		
		広島銀行安支店	同上	5,000,000
		広島市信用組合安支店	同上	10,000,000
		広島県信用組合安古市支店	同上	10,000,000
	減価償却引当資産	普通預金		
		広島銀行本店営業部	器具備品等の更新に備え管理している預金	520,454
		広島銀行安支店	同上	1,148,710
		広島銀行福田支店	同上	220,150
		広島市農業協同組合五日市中央支店	同上	4,356,722
		定期預金		
		広島銀行安支店	同上	4,000,000
		広島市農業協同組合あさひが丘支店	同上	10,000,000
	備品等購入資金積立資産	普通預金		
		広島銀行安支店	器具備品等の取得に備え管理している預金	452,606
		定期預金		
		広島銀行安支店	同上	1,000,000
	みどり生きものサポーター募金積立資産	普通預金	魅力ある施設づくりのための寄付金を管理している預金	299,082
		広島銀行安支店		33,226
		広島銀行五日市八幡支店	同上	4,768
		広島銀行福田支店	同上	
その他固定資産				
	建物	植物公園 温室及び倉庫 62.3㎡	収益事業における販売用植物の展示・保管用	2
	構築物	安佐動物公園 仮設売店 9.7㎡	収益事業における飲食物販売用	2,088,851
	車両運搬具	普通乗用車1台	公益目的事業用車両運搬具	1,182,856
		小型貨物等3台、スクーター2台	収益事業用車両運搬具	16,454
	器具備品	デジタルカメラ等21点	公益目的事業用器具備品	1,236,181
		冷蔵庫等66点	収益事業用器具備品	2,395,209
	電話加入権	安佐動物公園 管理事務所	収益事業に係る電話回線(1回線)	74,984
	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業等の財源として使用している。	59,396
		第327回利付国債	同上	1,334
固定資産合計				583,065,008
資産合計				918,097,230

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)				
	未払金	維持管理業務等委託先業者ほか	委託料等の未払額	132,080,896
	未払法人税等	広島東税務署	平成26年度法人税等の未払額	5,934,500
	前受金	広島動物愛好会等会員	平成27年度分前受会費	394,000
	買掛金	商品仕入先業者	売店等における商品仕入れの買掛額	9,055,127
	預り金	広島東税務署、厚生労働省年金局、 広島市等	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険 料、住民税等	11,250,738
	賞与引当金	職員に対するもの	職員112名に対する賞与の支払いに備え たもの	26,871,483
流動負債合計				185,586,744
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員55名に対する退職金の支払いに備え たもの	391,256,859
固定負債合計				391,256,859
負債合計				576,843,603
正味財産				341,253,627

監査報告書

平成27年5月18日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
理事長 荒本 徹哉 様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監事 神田 敏治
公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監事 手島 健志

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上